

【資料－3(1)】

各機関の取組内容

【大分川・大野川水系流域治水プロジェクト】

令和4年5月27日

大分川・大野川水系流域治水協議会

大分川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大分川水系においても、由布院盆地や大分平野・県都大分市街地に人口・資産が集中しているため、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が想定される特性を踏まえ、築堤及び河道掘削などの事前防災対策を進め、以下の取組を実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の昭和28年6月洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

大分川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

- 大分川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 大分市街地等での浸水被害を軽減するため、本川の河道掘削及び排水施設の整備を実施し、また、支川横瀬川の堤防整備を実施するとともに、流域全体での流水の貯留機能の拡大、雨水貯留施設等の対策及び、災害危険区域の検討や立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）、ハザードマップ・各タイムラインの作成・支援等のソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。
 - 【中期】 本川中流部の浸水被害を軽減するため、本川中流部の河道掘削・堰改築を実施し、また、支川賀来川の河道掘削を実施するとともに、継続して支川横瀬川の整備、流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。
 - 【中長期】 本川中上流部及び支川七瀬川の浸水被害を軽減するため、本川中上流部の河道掘削・堤防整備を実施し、支川七瀬川の河道掘削・堤防整備や橋梁架替、堰改築を実施するとともに、継続して流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

■河川対策 (約111億円)
 ■砂防対策 (約 50億円)
 ■下水道対策 (約220億円)

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築 等	大分県、国土交通省	本川下中上流部掘削	本川中流部・支川賀来川掘削	本川中上流部・支川七瀬川掘削	
			本川中上流部堤防整備	本川中流部堰改築	本川上流部・支川七瀬川堤防整備	
			横瀬川築堤護岸整備、橋梁架替		支川七瀬川橋梁架替、堰改築	
	雨水貯留機能の向上	大分市、竹田市、由布市	住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討、校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討			
		大分県	水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発			
	下水道対策事業	大分市	下水道等の排水施設の整備			
			災害対策ポンプ施設の整備			
				管きょ整備		
				下水道事業における雨水流出抑制施設の検討		
	土砂災害対策	大分県		砂防関係施設の整備		
		大分県、大分森林管理署、大分西部森林管理署、森林整備センター		森林整備・治山対策		
	流水の貯留機能の拡大	大分市、大分県	ため池の事前放流に関する可能性の検討、普及・啓発			
		大分市、由布市、大分県、国土交通省	利水ダム等4ダムにおける事前放流等の実施、体制構築			
	被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大分市、竹田市、由布市	災害危険区域の検討		
			大分市、竹田市、由布市、(大分県)	立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)、災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討		
	施設の機能確保	大分市	浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市、大分県、気象台、国土交通省	水害監視カメラ・量水表の設置			
				防災情報伝達の多重化の検討		
	避難体制等の強化	大分市、竹田市、由布市、大分県、気象台、国土交通省	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成		
				マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援		
グリーンインフラの取組	重要種等の保全	国土交通省	重要種等の保全			
	ワンド等の保全	国土交通省	ワンド等の保全			
	磯河原の再生	国土交通省	磯河原の再生			
	連続性の再生	国土交通省		連続性の再生		
	生息・生育・産卵環境の保全	国土交通省、大分県	生息・生育・産卵環境の保全			
	芹川かわまちづくり	大分県	芹川かわまちづくり			
	多様な生態系の保全	大分県	多様な生態系の保全			

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

大分川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

●グリーンインフラの取組『アユ等の産卵環境等となる良好な河川環境の保全・再生』

- 大分川はアユの産卵場となる早瀬が点在するなど、良好な河川環境により多様な動植物の生息基盤が存在するほか、多様な植生が分布し多くの野鳥が確認され市民が集う野鳥観察の場ともなっており、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。
- 大分川の下流部については、アユ等の生息・生育・産卵環境を保全するため、今後20年間で瀬・淵などの良好な河川環境を再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。



農地・農業水利施設を利用した流域の防災・減災の推進
※水田の貯留機能向上、ため池の洪水調節機能強化

【全域に係る取組】
・多様な生態系の保全

【全域に係る取組】
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携支援

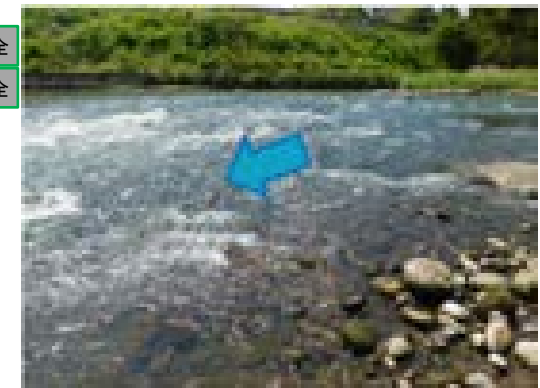
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

●治水対策における多自然川づくり

- ・連続性の再生
- ・ワンド、水際環境の再生
- ・重要種等の保全
- ・礫河原の再生
- ・生息・生育・産卵環境の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小中学校などにおける河川環境学習



生息・生育・産卵環境の保全



小中学校などにおける河川環境学習



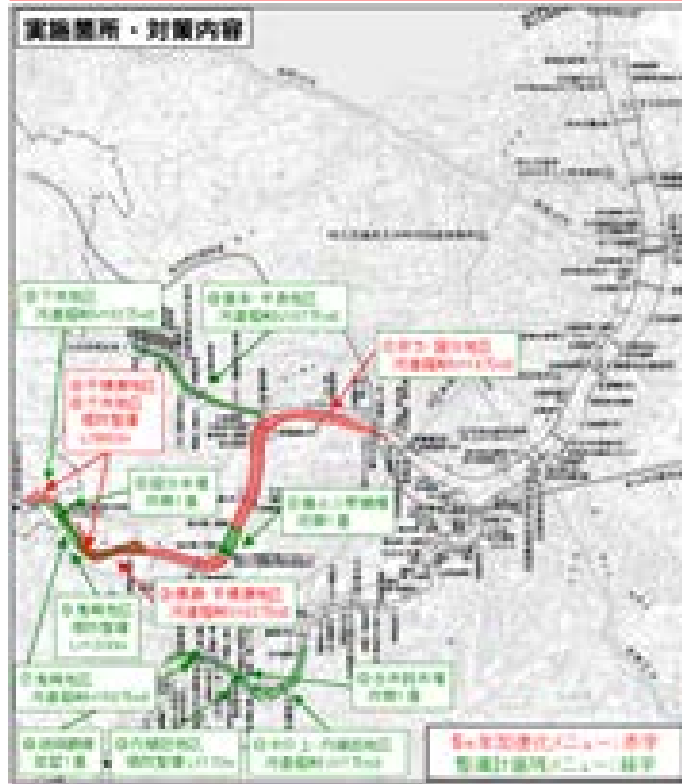
ワンド等の保全

大分川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

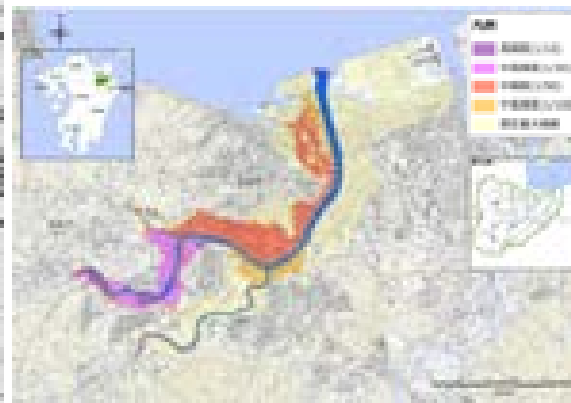
～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

令和2年7月豪雨による浸水被害を受けた、大分川上流部の下市地区等において堤防整備を令和7年度までに完了し、平成5年9月13号台風規模を流下させる治水安全度を確保する。また、賀来川合流点下流については、整備計画目標流量(1/70確率規模)を確保する。

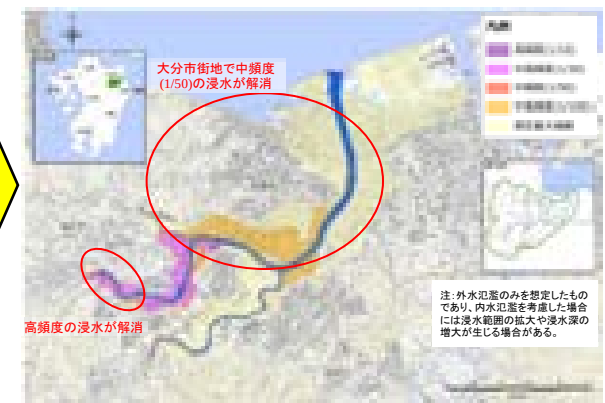
短期整備（5ヶ年加速化対策）効果：河川整備率 約48%→約74%



現在 ※外水氾濫のみを想定したものである。



短期 ※外水氾濫のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



【短期整備完了時の進捗】

- ① 宗方・国分地区 河道掘削 0%→80%
- ③ 横瀬・平横瀬地区 河道掘削 0%→30%
- ④ 平横瀬地区 堤防整備 0%→100%
- ⑧ 下市地区 堤防整備 0%→100%

区分	対策区間			対策内容	工程			
	河川名	エリア	地区名		【5年加速化対策】 短期(R3～R7年度) 本川中下流 1/30→1/70 本川上流 1/5→1/15 支川 1/30→1/30	中長期(R8～R17年度) 本川中下流 1/70→1/70 本川上流 1/15→1/70 支川 1/30→1/70		
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための 対策	関連事業				R3	R12		
	大分川	賀来川合流～ 嘉永小野鶴	①宗方・国分地区	河道掘削		80%		100%
			②嘉永小野鶴堰	堰改築			100%	
		嘉永小野鶴堰～ 国分井堰	③横瀬・平横瀬地区	河道掘削		30%		100%
			④平横瀬地区	堤防整備		100%		
		国分井堰～天神橋	⑤国分井堰	堰改築				100%
			⑥鬼崎地区	堤防整備				100%
			⑦鬼崎地区	河道掘削				100%
			⑧下市地区	堤防整備		100%		
			⑨下市地区	河道掘削				100%
		賀来川	-	⑩賀来・中島地区	河道掘削			
	七瀬川	-	⑪木の上・内種田地区	河道掘削				100%
			⑫古井路井堰	堰改築				100%
			⑬内種田地区	堤防整備				100%
			⑭胡麻鶴橋	橋梁架替				100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

大分川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～近年の気候変動による水害から県都大分市と全国有数の観光地を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：74%

（概ね5か年後）

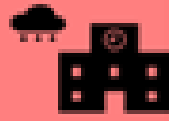
農地・農業用施設の活用



2市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・治水対策



治山対策等の
実施箇所 1箇所

（令和3年度末時点）

砂防関係施設の
整備数 1施設

（令和3年度末時点）

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 9河川

（令和3年12月末時点）

内水浸水想定
区域 0団体

（令和3年12月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



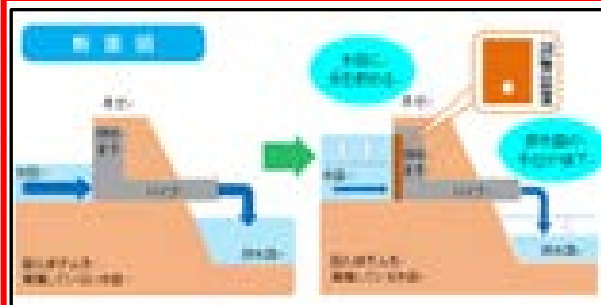
避難確保
計画 洪水 707施設
計画 土砂 3施設

（令和3年度末時点）

個別避難計画 集計中

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



田んぼダムイメージ図

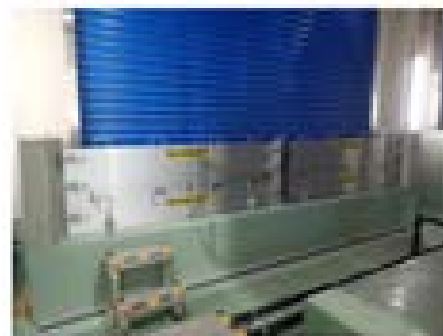


田んぼダム用調整装置

モデルほ場での実証事業の実施（大分県）

- ・県内3箇所のモデルほ場で、複数の調整装置を設置して、最適な調整装置及び水田の降雨時の貯留効果を検証
- ・大分大学と共同で検証を実施

被害対象を減少させるための対策



止水板の設置



防水シャッターの設置

- ・氾濫による被害を防ぐため、浄水場の浸水対策を実施。（大分市）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

災害監視カメラ設置箇所 位置図



水害監視カメラの設置（大分市）

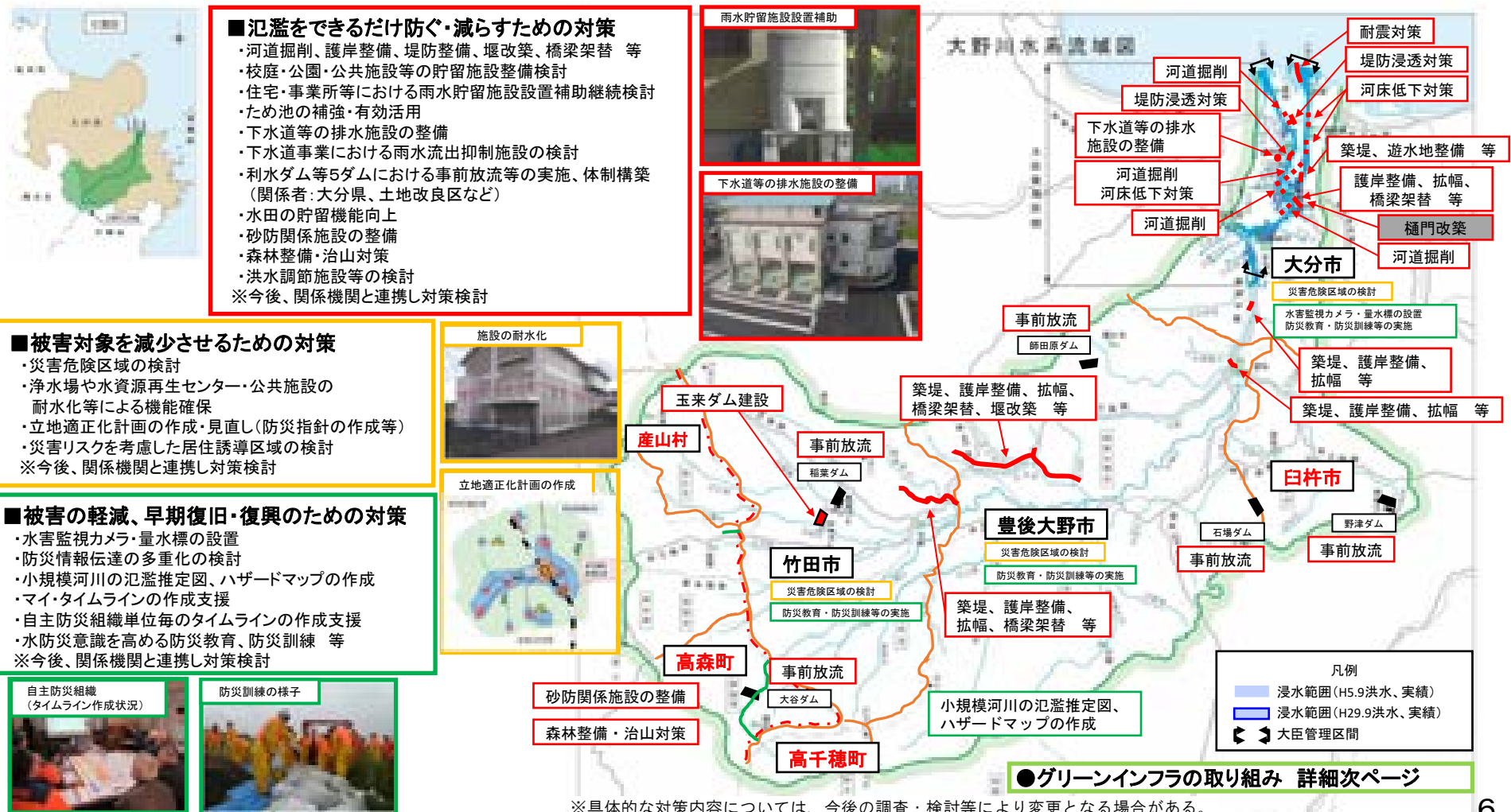
台風などの大雨時においては、職員などによる浸水状況の把握やパトロールが困難となることから、防災対応に大きな影響を及ぼす恐れがある。市民の安全・安心を確保し、事前防災を進めるため、特に浸水被害が発生する26箇所に水害監視カメラの設置を行い、状況を適宜把握しながら防災対応を行うとともに、リアルタイムな映像を市民に配信することで、自主避難の判断等、的確な避難行動に結びつける。

- 水害監視カメラシステムの主な内容
 - ・カメラの設置箇所数 26箇所
 - ・カメラ映像はライブ映像により常時公開
 - ・夜間でも映像が鮮明に確認できるカメラを使用
- 公開日 令和3年7月5日
- 公開方法
 - ・水害監視カメラシステムホームページ
 - ・YouTube「大分市水害監視カメラ」
 - ・ケーブルテレビ（※災害時のみ放送）

大野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大野川水系においても、竹田盆地や大分平野・県都大分市街地に人口・資産が集中しているため、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が想定される特性を踏まえ、築堤及び河道掘削などの事前防災対策を進め、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、平成5年9月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成29年9月（台風第18号）同規模洪水においても堤防からの越水を回避し、家屋浸水や臨海工業地域の経済活動に対する影響など、流域における浸水被害の軽減を図る。



大野川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

●大野川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】大分市の堤防の安全性確保のため河道掘削・河床低下対策、浸水被害を軽減するため支川大谷川・宮谷川の堤防整備を実施し、また、竹田市街地の浸水被害を軽減するためダム建設・濁淵川の堤防整備、豊後大野市等の浸水被害を軽減するため平井川の堤防整備等を実施し、さらに、流域全体での流水の貯留機能の拡大、雨水貯留施設等の対策及び、災害危険区域の検討や立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)、ハザードマップ・各タイムラインの作成・支援等のソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中期】大分市の堤防の安全性確保のため河道掘削、河床低下・耐震対策を実施し、また、継続して豊後大野市等の浸水被害を軽減するため平井川の堤防整備を実施するとともに、流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

【中長期】継続して大分市の河床低下・浸透・耐震対策を実施するとともに、流域全体での雨水貯留施設等の対策及びソフト対策を実施し流域内の被害軽減を目指す。

■河川対策 (約338億円)
■砂防対策 (約 65億円)
■下水道対策 (約165億円)

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築 等	大分県、国土交通省	本川中流部河道掘削・河床低下対策	本川中流部河道掘削・河床低下対策	本川中流部浸透・河床低下対策	
			大谷川、濁淵川、平井川堤防整備	平井川堤防整備		
			玉来ダム建設			
			宮谷川、本川下中流部堤防整備	本川中流部堤防整備		
	地震対策	国土交通省		本川下中流部耐震整備		
	雨水貯留機能の向上	大分市、竹田市、豊後大野市 大分県 国土交通省	住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続検討、校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討			
			水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発			
			洪水調節施設等の検討			
	下水道対策事業	大分市		下水道等の排水施設の整備		
				管きょ整備		
	土砂災害対策	大分県 大分県、熊本県、宮崎県 大分森林管理署、森林整備センター	下水道事業における雨水流出抑制施設の検討			
			砂防関係施設の整備			
			森林整備・治山対策			
	流水の貯留機能の拡大	大分市 大分市、大分県、国土交通省	ため池の事前放流に関する可能性の検討、普及・啓発			
			利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築			
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大分市、竹田市、豊後大野市	災害危険区域の検討			
	施設の機能確保	大分市、竹田市、豊後大野市、(大分県)	立地適正化計画の作成・見直し(防災指針の作成等)、災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討			
		大分市	浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市、大分県、国土交通省、気象台	水害監視カメラ・量水槽の設置			
			防災情報伝達の多重化の検討			
	避難体制等の強化	大分市、竹田市、豊後大野市、臼杵市、高千穂町、大分県、熊本県、宮崎県、国土交通省、気象台	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成		
			マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援			
			水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施			
グリーンインフラの取組	重要種等の保全	国土交通省	重要種等の保全			
	ワンド等の保全	国土交通省	ワンド等の保全			
	生息・生育・産卵環境の保全	国土交通省、大分県	生息・生育・産卵環境の保全			
	連続性の確保	大分県	連続性の再生			
	玉来川かわまちづくり	大分県	玉来川かわまちづくり			
	多様な生態系の保全	大分県	多様な生態系の保全			

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

大野川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

●グリーンインフラの取組『アユ等の産卵環境等となる良好な河川環境の保全・再生』

- 大野川はアユの餌となる付着藻類が豊富で下流部の瀬はアユの産卵場に利用されるほか、魚類等の遡上を阻害する横断工作物等がない河川環境にあり、瀬や淵、ワンド、自然河岸、汽水域等の多様な河川環境が存在しており、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。
- 大野川において、アユ等の生息・生育・産卵環境を保全するため、今後20年間で瀬・淵などの良好な河川環境を再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。



●治水対策における多自然川づくり

- ・ワンド、水際環境の再生
- ・重要種等の保全
- ・生息・生育・産卵環境の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小中学校などにおける河川環境学習



生息・生育・産卵環境の保全



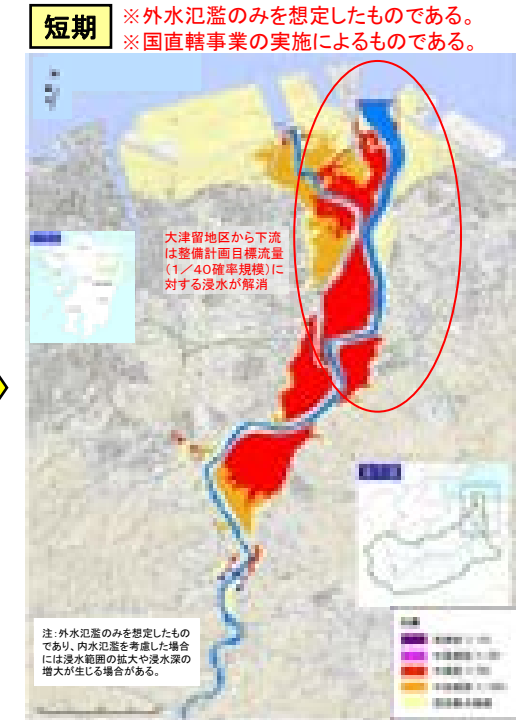
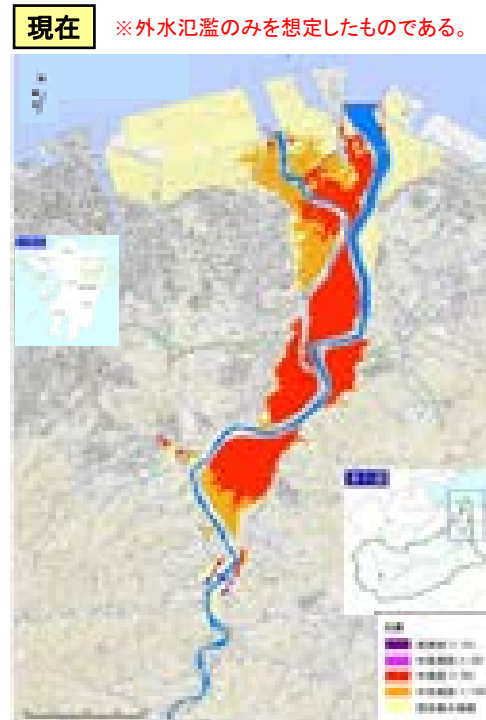
小中学校などにおける河川環境学習

大野川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

河岸浸食が進行しており昭和18年洪水による堤防決壊実績がある大津留地区において河床低下対策等を令和7年度までに完了し、大津留地区から下流の大野川については、整備計画目標流量（1/40確率規模）を確保する。

短期整備（5ヶ年加速化対策）効果：河川整備率 約79%→約85%



【短期整備完了時の速報】
③大津留地区
河床掘削 河床低下対策 0%→100%

区分	対象区間		工程	
	河川名	地区名	対策内容	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	関連事業		【5カ年加速化対策】 短期(R3～R7年度) 約1/30→1/40 大野川(大津留地区より下流)	中長期(R8～R16年度) 約1/30→1/40 大野川(大津留地区より上流) 乙津川
	大野川	①一ノ洲地区	地震・津波対策	43%
		②志村・鶴見地区	河床低下対策	100%
		③大津留地区	河床掘削 河床低下対策	100%
		④下戸次地区	河床掘削	100%
	乙津川	⑤国宗・鶴瀬地区	浸透対策	100%
		⑥乙津・皆春地区	河床掘削	100%
		⑦毛井地区	河床掘削	100%
	大野川 乙津川	樋門耐震化		100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

大野川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～日本の産業を支える「九州最大の工業地域」と「歴史的観光地」を水害から暮らしを守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：85%

（概ね5か年後）

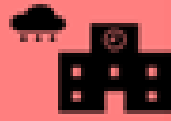
農地・農業用施設の活用



3市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・土石災害対策



治山対策等の
実施箇所 4箇所

（令和3年度末時点）

砂防関係施設の
整備数 1施設

（令和3年度末時点）

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水想定
区域 19河川

（令和3年12月末時点）

内水浸水想定
区域 0団体

（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



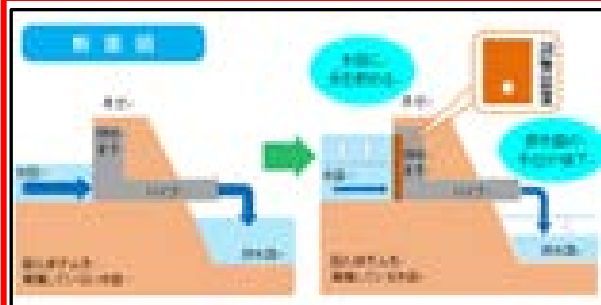
避難確保
計画 洪水 720施設
土砂 13施設

（令和3年度末時点）

個別避難計画 集計中

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



田んぼダムイメージ図

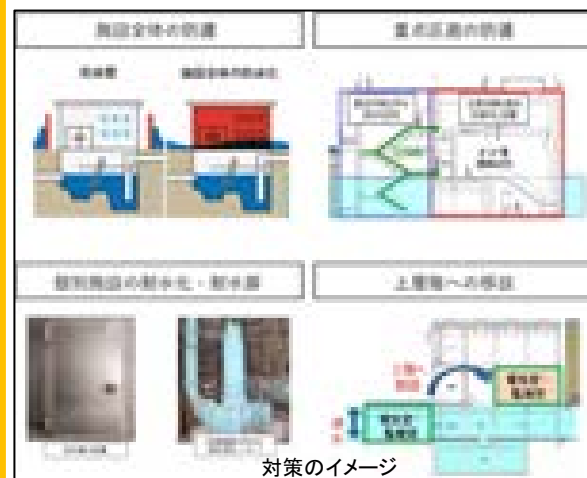


田んぼダム用調整装置

モデルほ場での実証事業の実施（大分県）

- ・県内3箇所のモデルほ場で、複数の調整装置を設置して、最適な調整装置及び水田の降雨時の貯留効果を検証
- ・大分大学と共同で検証を実施

被害対象を減少させるための対策



対策のイメージ

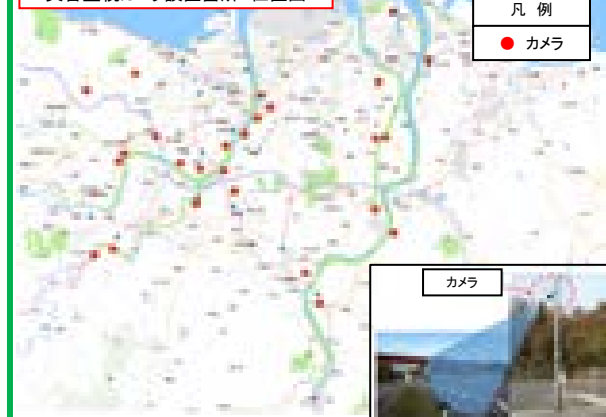
下水道耐水化計画の策定（大分市）

	大分市計画	伊予市計画
下水道耐水化計画策定	2箇所	2箇所
下水道耐水化計画策定	2箇所	2箇所
下水道耐水化計画策定	2箇所	2箇所
下水道耐水化計画策定	2箇所	2箇所

耐水化計画における検討対象施設

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

災害監視カメラ設置箇所 位置図



水害監視カメラの設置（大分市）

台風などの大雨時においては、職員などによる浸水状況の把握やパトロールが困難となることから、防災対応に大きな影響を及ぼす恐れがある。市民の安全・安心を確保し、事前防災を進めるため、特に浸水被害が発生する26箇所に水害監視カメラの設置を行い、状況を適宜把握しながら防災対応を行うとともに、リアルタイムな映像を市民に配信することで、自主避難の判断等、的確な避難行動に結びつける。

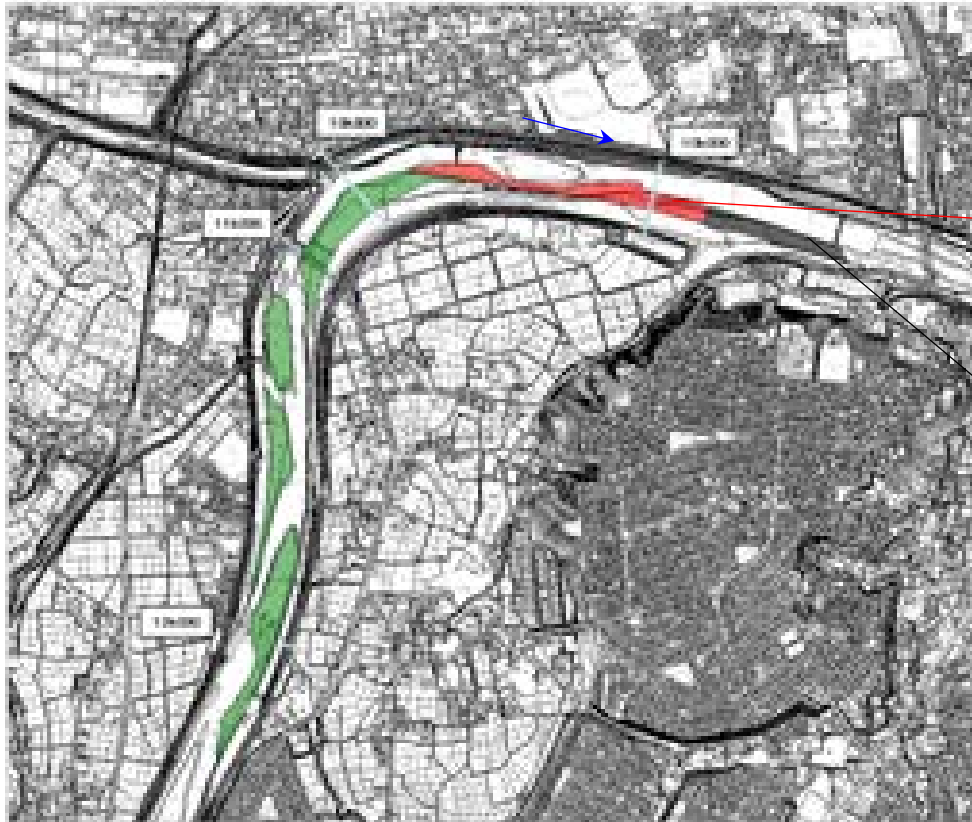
- 水害監視カメラシステムの主な内容
 - ・カメラの設置箇所数 26箇所
 - ・カメラ映像はライブ映像により常時公開
 - ・夜間でも映像が鮮明に確認できるカメラを使用
- 公開日 令和3年7月5日
- 公開方法
 - ・水害監視カメラシステムホームページ
 - ・YouTube「大分市水害監視カメラ」
 - ・ケーブルテレビ（※災害時のみ放送）

各機関の取組内容

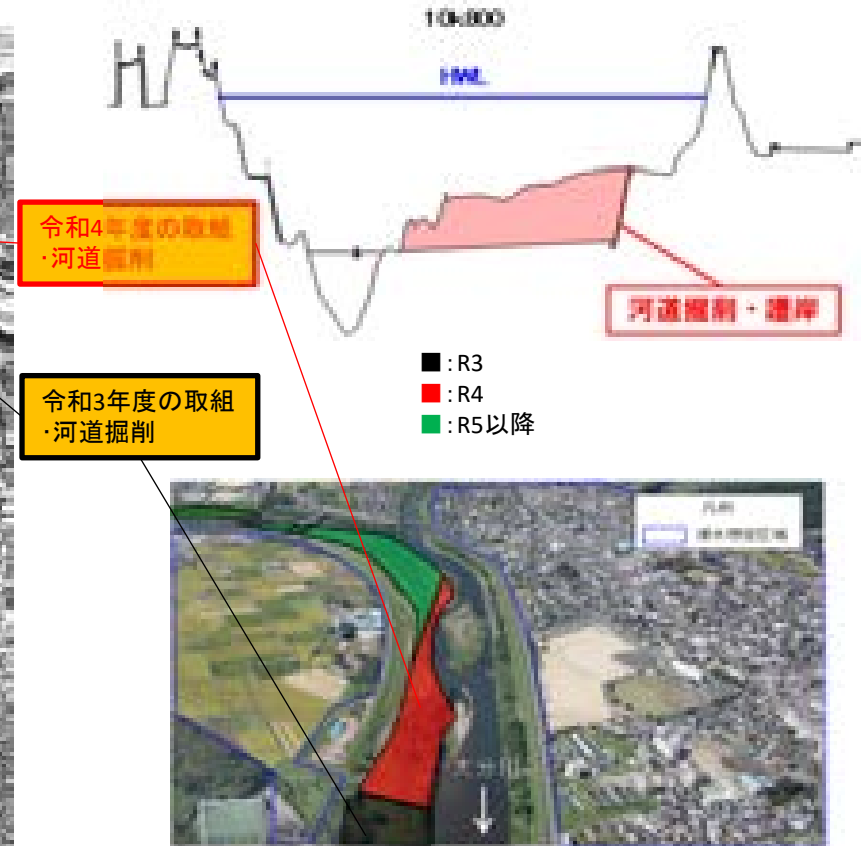
【国土交通省】大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

本川中流部において流下能力向上のための河道掘削を実施し、浸水被害の軽減を図る。

○平面図



○横断面図



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、護岸工	国土交通省	本川下中流部掘削	本川中流部・支川賀来川掘削	本川中上流部・支川七瀬川掘削

【国土交通省】大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援

※令和3年度 桑原地区で実施

○住民自ら、身の回りの危険箇所や避難所、避難経路を確認し事前の備えに役立ててもらうためマイハザードマップの作成及びコミュニティタイムライン（自主防災組織単位毎のタイムライン）の作成支援を実施。

●対象地区
大分市桑原地区

●会議概要

第1回：ハザードマップ会議の概要説明、意見聴取
第2回：桑原地区防災資料の説明、まち歩き
第3回：成果資料の報告

桑原地区の防災資料

桑原地区の防災資料

マイハザードマップ

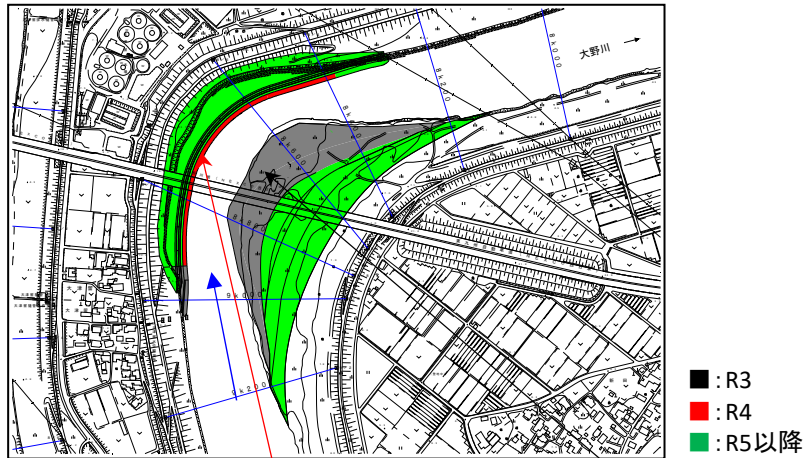
コミュニティタイムライン

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	国土交通省	マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援		

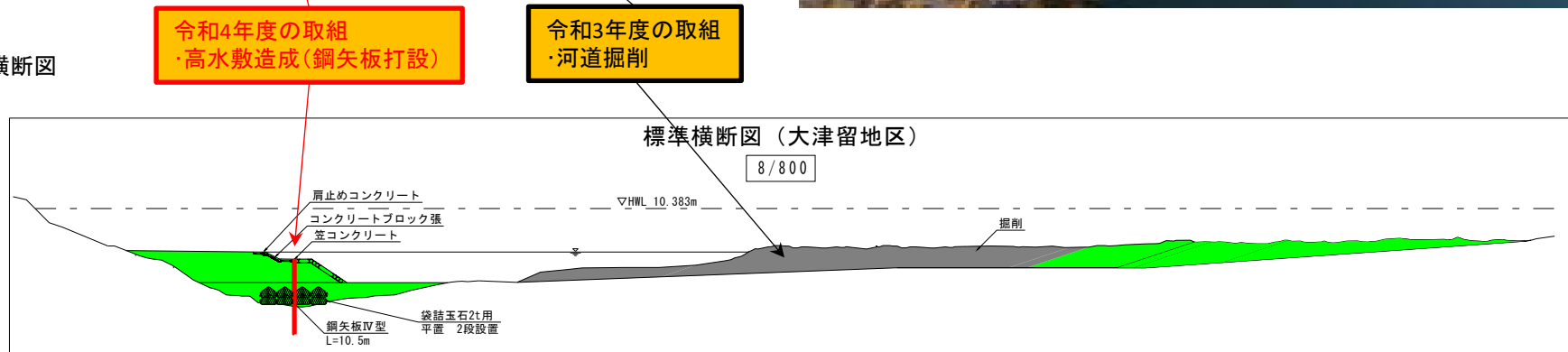
【国土交通省】大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

本川中流部における堤防安全性確保のため、河道掘削・河床低下対策を実施し、浸水被害の低減を図る。

○平面図



○横断面図



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備	国土交通省	本川中流部河道掘削・河床低下対策	本川中流部河道掘削・河床低下対策	本川中流部浸透・河床低下対策

【国土交通省】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■水防災意識を高める防災教育、避難訓練

- 河川協力団体等と連携した広報活動
- 学校教育における水防災教育の促進

令和3年度の実施

参加人数：67名

R3.10.27 防災教育（鶴崎小学校）



地域への小学生を対象とした防災教育を河川協力団体である「乙津川水辺の楽校運営協議会」と連携して実施。

R3.10.27 防災教育（鶴崎小学校）



堤防決壊シミュレーション動画を用いて実際に起こりえる被害等について説明。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	国土交通省	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【国土交通省】大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

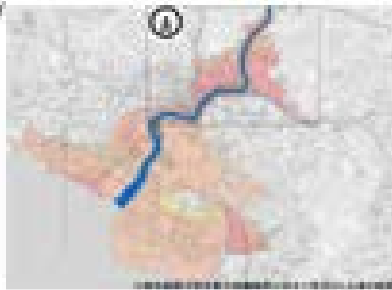
■水害リスクマップの作成・公表

○従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進。

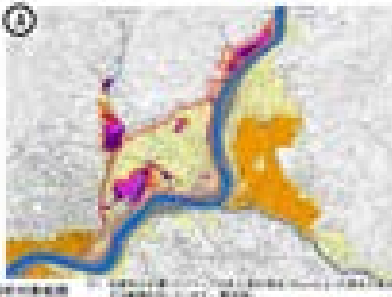
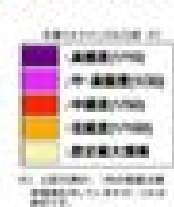
○今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進。

●水害リスク情報の充実

○水害ハザードマップ



○水害リスクマップ



●水害リスクマップの活用イメージ

現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果量を反映した将来の水害リスクを提示し、以下に取り組み

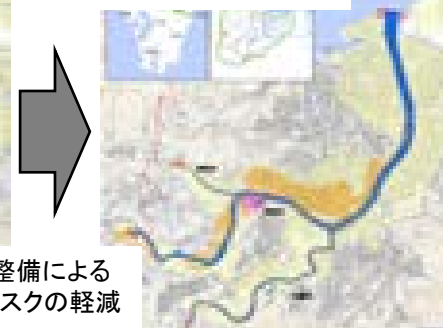
○住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進

○企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

現在(外水氾濫のみ)



整備後(外水氾濫のみ)



河川整備による
水害リスクの軽減

大分河川国道事務所ホームページにて令和4年4月より公表

多段階の浸水深予測・水害リスクマップ

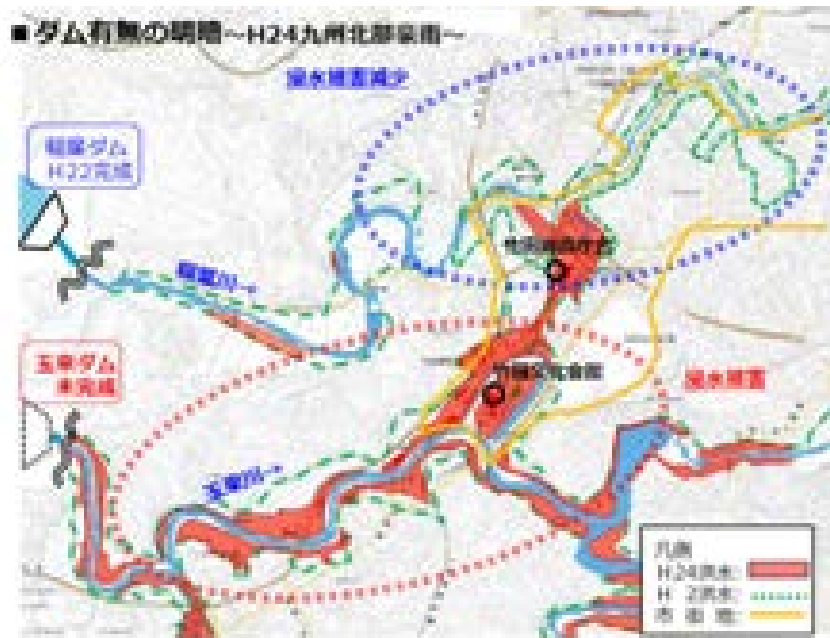
浸水深	浸水深	浸水深
0.5m未満	0.5m以上1.0m未満	1.0m以上1.5m未満
1.5m以上2.0m未満	2.0m以上	

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	国土交通省	水害リスクマップの作成		

【大分県河川課】大野川水系流域治水プロジェクト(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

玉来ダム建設により、竹田市街地の浸水被害の軽減を図る。

- 玉来ダムの概要
- 目的：洪水調節
 - ダム形式：重力式コンクリートダム（流水型ダム）
 - 堤高：52m、堤頂長：145m、堤体積：約130,000m³
 - 集水面積：87km²



■進捗状況

令和3年度
・堤体コンクリート打設完了
(R3.8.24)
一定の治水効果発現



令和4年度
・止水対策完了
・試験湛水
ダム事業完了



打設完了式(令和3年8月24日)

■現場状況 【R3年度末進捗率：92%（事業費ベース）】



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	玉来ダム建設	大分県	玉来ダム建設		

【農村基盤整備課】大分川・大野川水系流域治水プロジェクト

(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策) (被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

■農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進

【防災重点農業用ため池の耐震化・洪水調節機能の強化】

- ・R3は県内62箇所(大分川・大野川流域9箇所)について、堤体の耐震化を行い、農業用ため池が有する洪水調節機能を強化を行った
- ・R4は県内51箇所(大分川・大野川流域6箇所)の予定



整備前

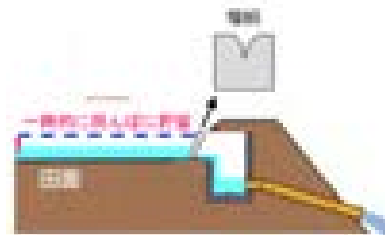


整備後

【水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発】

R3 取組状況

- ・田んぼダムに適した堰板及び排水柵の検証
- ・水田単位でデータ収集を行い、降雨時の雨水の貯留効果の検証
- ・県内3地区(由布、九重、宇佐)



R4 取組内容

- ・R3に検証した結果を踏まえ、排水路流域単位で県内9地区(大分川・大野川流域2地区(由布、竹田))のデータ収集を行い、洪水抑制効果の検証を行う

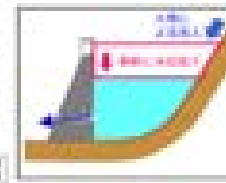
■流水の貯留機能の拡大

【農業用ダム・ため池の事前放流】

- ・農業用ダムの事前放流による治水活用
⇒ 県内25ダム(大分川・大野川流域5ダム(若杉ダム、石場ダム、師田原ダム、大谷ダム、大蘇ダム))
- ・ため池の事前放流による治水活用
⇒ 県内1,041箇所(大分川・大野川流域90箇所)

農業用ダムの活用

- ① 大雨が予想される前にあらかじめ水を放流し、下流の洪水調節機能を発揮。
- ② 洪水が押し寄せた際に、ダムを閉鎖し、洪水を貯留し、下流の洪水調節機能を発揮。



ため池の活用

- ① 大雨が予想される前に、あらかじめ水を放流し、下流の洪水調節機能を発揮。
- ② 洪水が押し寄せた際に、ため池を閉鎖し、洪水を貯留し、下流の洪水調節機能を発揮。



(被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

■水害リスク情報の提供・充実

【ため池ハザードマップ作成支援】

- ・大分県がR2まで浸水想定区域図をもとに、各市町村において、ため池ハザードマップを作成
- ・県内1,013箇所のうち、R3までに920箇所作成済。R4に全て作成完了予定。



ため池ハザードマップ

【ため池への水位計・監視カメラの設置】

- ・ため池に水位計・監視カメラを設置し、豪雨時の適切な避難行動に備える
- ・R3は県内3箇所(杵築、宇佐、国東)
- ・R4は県内40箇所設置予定



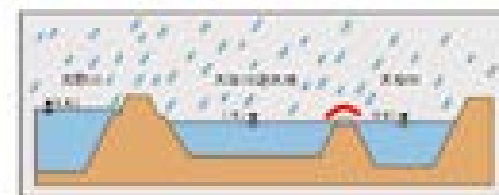
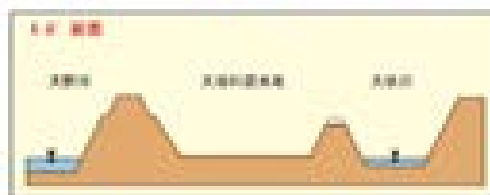
水位計設置

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進	大分県	防災重点ため池の耐震化・洪水調節機能の強化、水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留機能の拡大	大分県	農業用ダム・ため池の事前放流		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分県	水位計・監視カメラの設置		

【大分土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

大谷遊水池新設により、大分市金谷地区の浸水被害の軽減を図る。

○平面図



○着手前



○R3年度



○完成イメージ



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	雨水貯留機能の向上	大分県	洪水調節施設等の検討		

大分県森林保全課、大分県森林整備室
大分森林管理署、大分西部森林管理署
森林整備センター

大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

■森林整備、治山対策【氾濫河川上流域における森林整備、治山対策の実施】

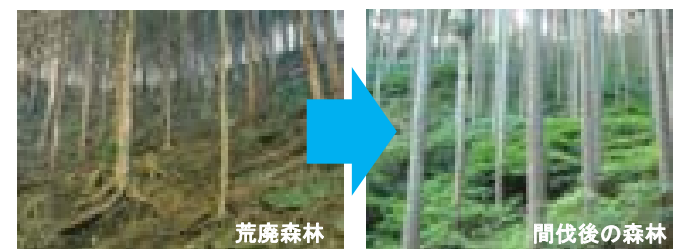
森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け、森林整備、治山対策を推進。

間伐等の森林整備の実施により雨水を地中に素早く浸透させ、ゆっくり流出させるという森林の洪水緩和機能を保全するとともに、治山事業の実施により流木・土砂の流出抑制効果を発揮させ、流域上流における防災・減災対策を図る。



・大分森林管理署
・大分西部森林管理署
・大分県
・森林整備センター九州整備局

森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県、大分森林管理署、大分西部森林管理署、森林整備センター	森林整備・治山対策		

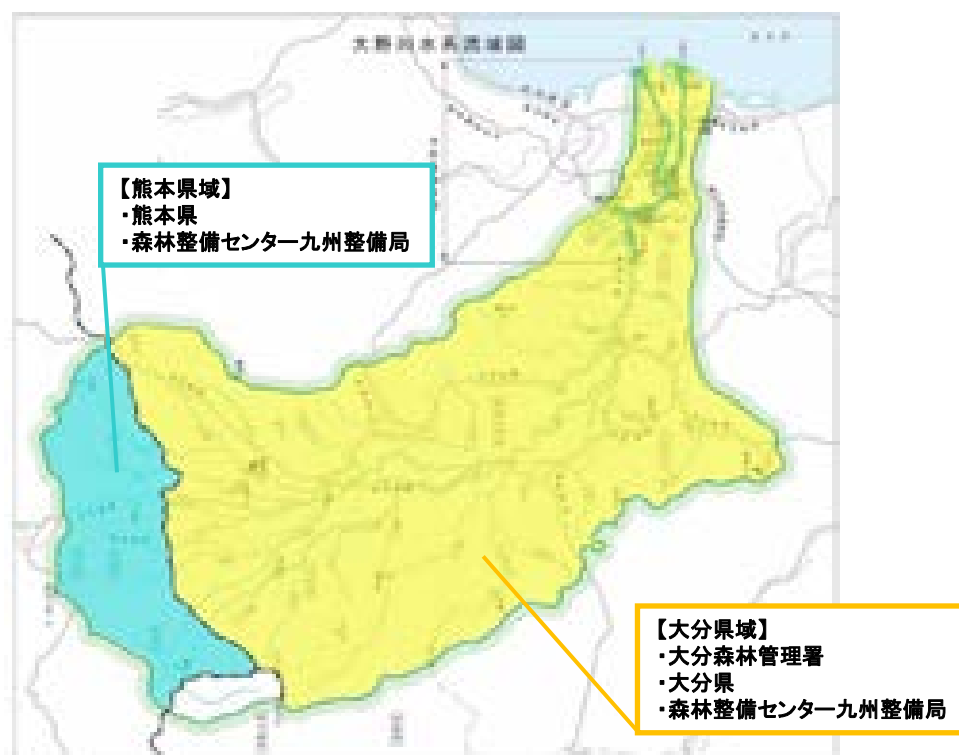
大分県森林保全課、大分県森林整備室
大分森林管理署、森林整備センター

大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

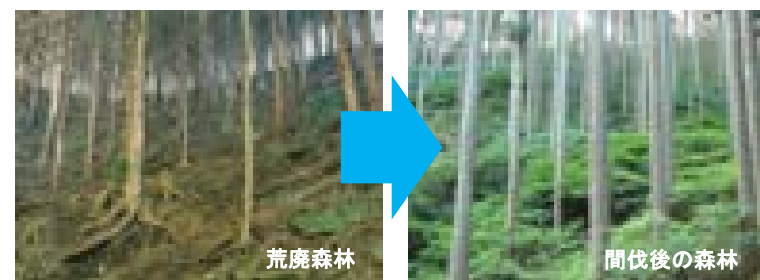
■森林整備、治山対策【氾濫河川上流域における森林整備、治山対策の実施】

森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け、森林整備、治山対策を推進。

間伐等の森林整備の実施により雨水を地中に素早く浸透させ、ゆっくり流出させるという森林の洪水緩和機能を保全するとともに、治山事業の実施により流木・土砂の流出抑制効果を発揮させ、流域上流における防災・減災対策を図る。



森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県、大分森林管理署、森林整備センター	森林整備・治山対策		

【竹田土木】 大分川水系流域治水プロジェクト（グリーンインフラの取組）

芹川において、管理用道路（散策路）や高水敷等を整備することで管理を容易にし、水辺と温泉街が一体となるような賑わい空間の創出をはかる。

基本計画



令和3年度の取組
高水敷・管理道設計

現況



現況



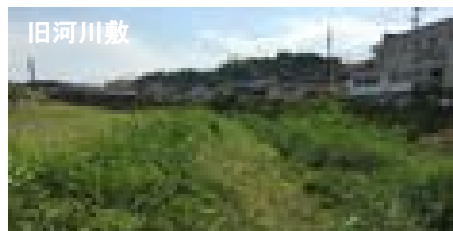
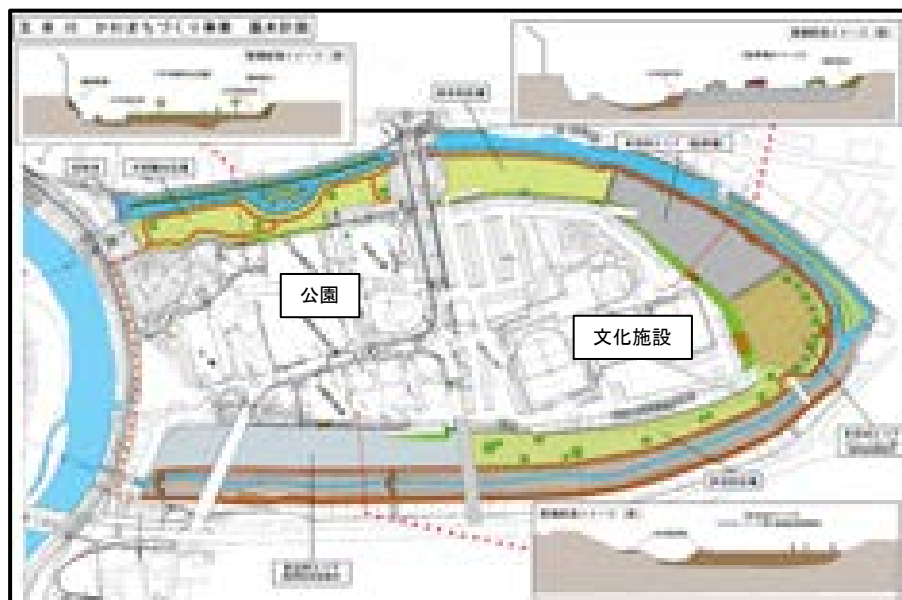
完成イメージ図



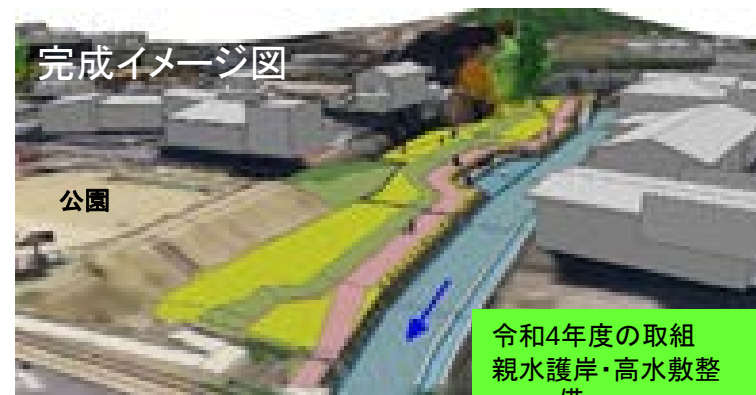
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの取組	芹川かわまちづくり	大分県	芹川かわまちづくり		

【竹田土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（グリーンインフラの取組）

玉来川において、公園・文化会館などの施設と旧河川敷を一体的に整備することで市民の憩いの場を提供し、地域の賑わいの場の創出を図る。



令和3年度の取組
親水護岸・高水敷整備



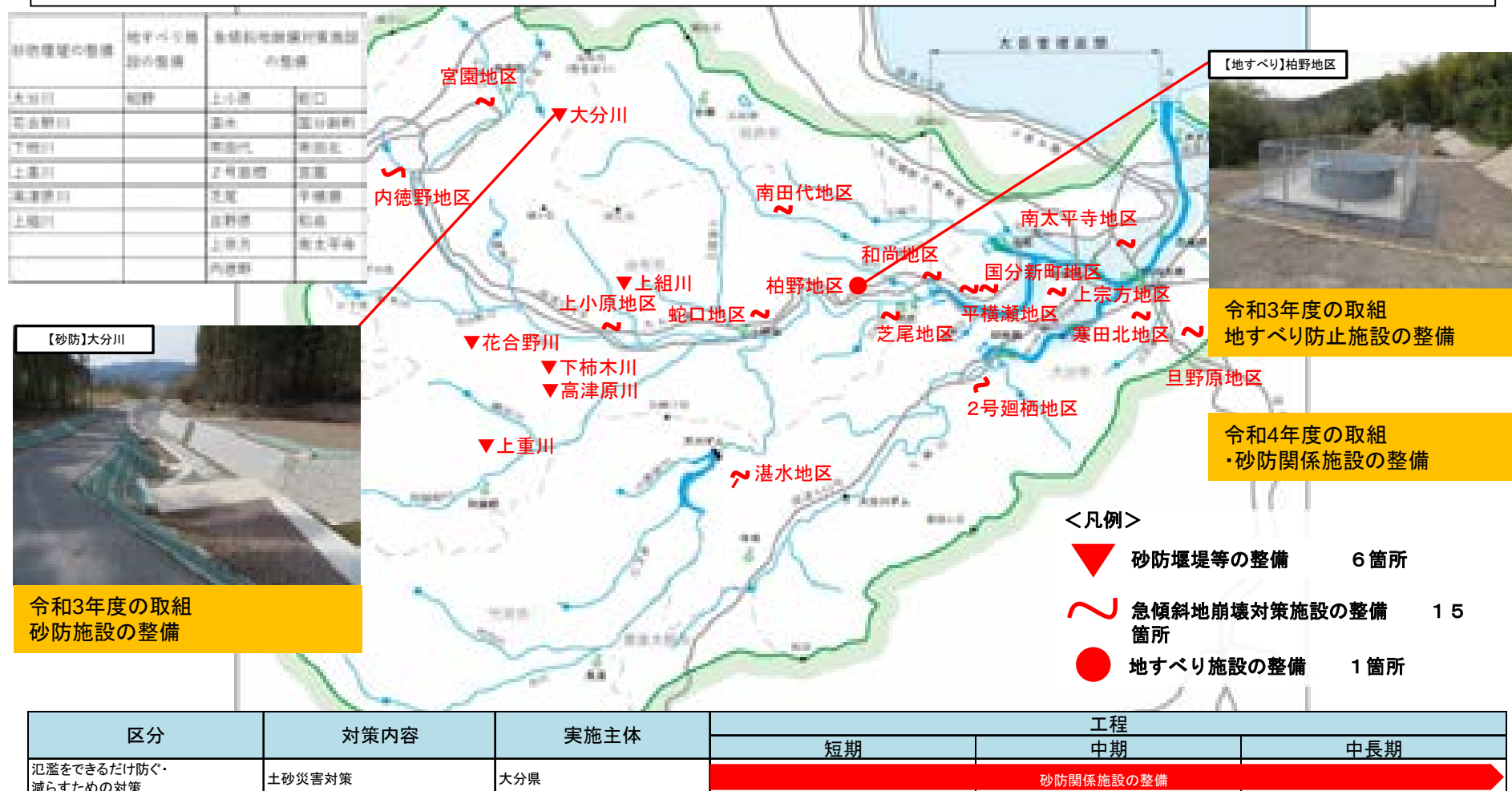
令和4年度の取組
親水護岸・高水敷整備

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの取組	玉来川かわまちづくり	大分県	玉来川かわまちづくり		

【大分県砂防課】大分川水系流域治水プロジェクト
(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

■砂防関係施設の整備

流域内における土砂流出や流木を抑制する砂防施設の整備、避難の実効性・安全性を高めるための避難所・避難路を土砂災害から保全する急傾斜地対策を行う。



【大分県砂防課】 大野川水系流域治水プロジェクト (氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

■砂防関係施設の整備

流域内における土砂流出や流木を抑制する砂防施設の整備、避難の実効性・安全性を高めるための避難所・避難路を土砂災害から保全する急傾斜地対策を行う。

<凡例>

- ▲ 砂防堰堤等の整備 10箇所
- 〰 急傾斜地崩壊対策施設の整備 37箇所
- 地すべり施設の整備 3箇所



令和3年度の実施
急傾斜地崩壊防止施設の整備



令和3年度の実施
砂防施設の整備



砂防堰堤等の整備	地すべり施設の整備	急傾斜地崩壊対策施設の整備
利光川	綿田	田原
小福手谷川	山内	大園C
栗栖川	瀬の口	西角子原
郷野平川一支流	伊与床	宮尾
郷野平川二支流	中下	大園(D)
北平川	栃原	谷ヶ迫
福河内川	近地	釜本
志田原川	高畑2	平田
下矢倉川	寺田	越戸
竹田川②	衣掛	上久保
	菅生	山方
	石田	田中
	下市	上赤嶺2区
	上下木	南桑畑
	次倉中央	天神山
	渡瀬	大恩寺
	殿町	第3仙谷
	濁洲	小仲尾
	田原	

令和4年度の実施
・砂防関係施設の整備

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県	砂防関係施設の整備		

【大分土木】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

横瀬川において、堤防整備による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

一級河川大分川水系横瀬川 総合流域防災事業

○平面図

○横断面図

令和3年度の実施
・河川護岸詳細設計

令和4年度の実施
・河川改修工事



■ R4施工予定
■ 未施工

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、護岸整備、橋梁架替	大分県	横瀬川築堤護岸整備、橋梁架替		

【大分土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

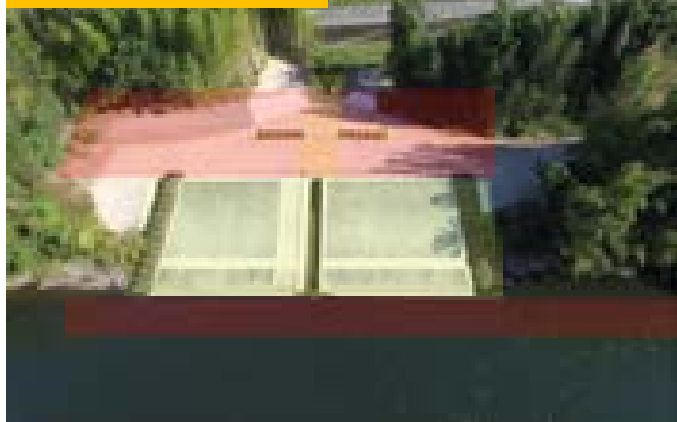
大野川において、堤防整備による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

○平面図

一級河川大野川水系大野川 総合流域防災事業

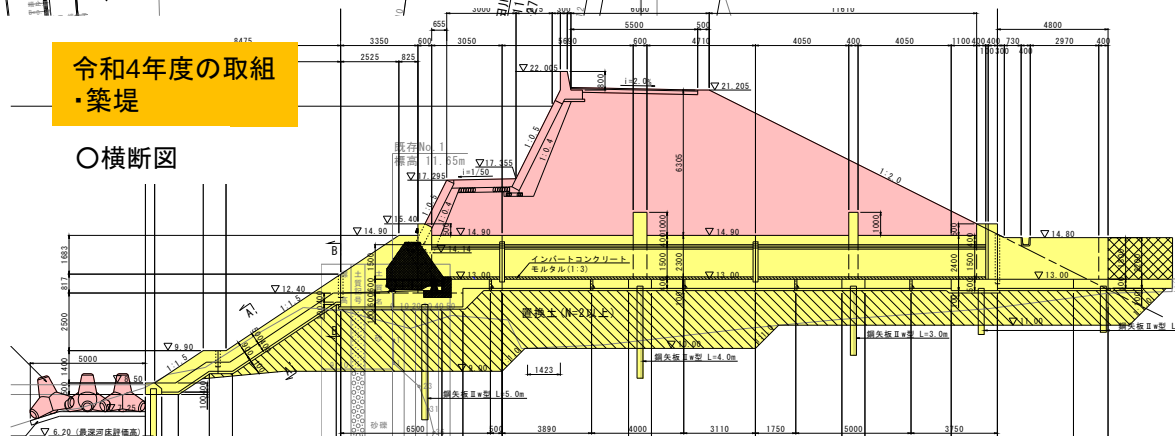


令和3年度の取組
・樋管の改修・護岸改修



令和4年度の取組
・築堤

○横断面図



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、護岸整備	大分県	本川中流部堤防整備		

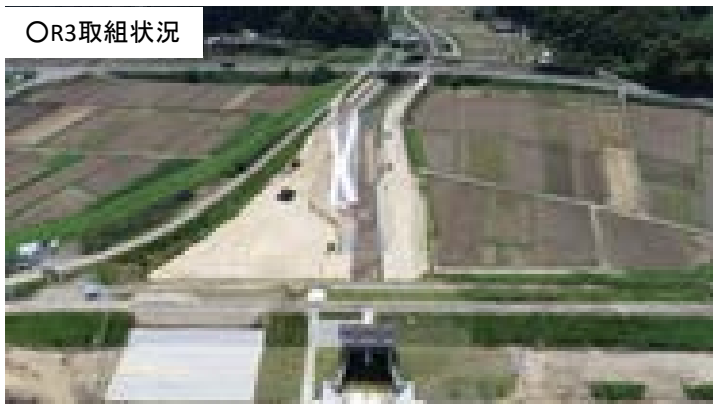
【大分土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

宮谷川において、河道拡幅・橋梁掛替・堤防整備等による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

○平面図



○R3取組状況



○R4取組箇所（現況）



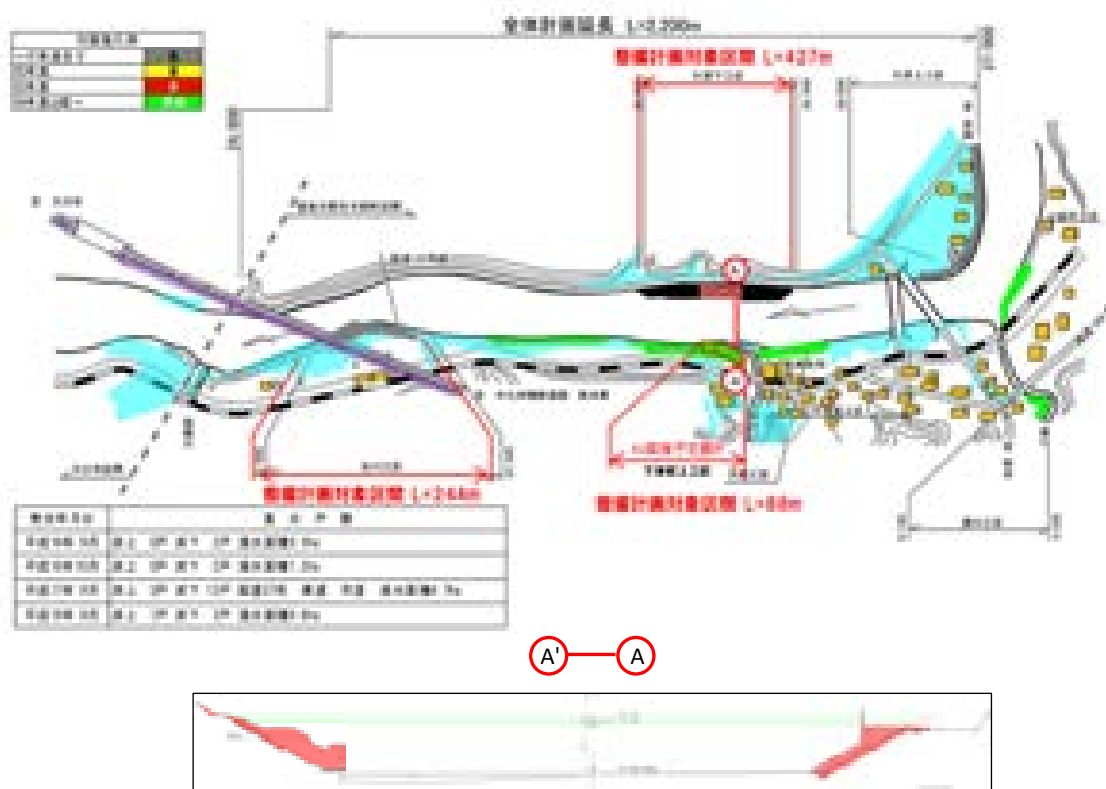
○R3取組内容
築堤工、河道掘削工、護岸工
○R4取組内容
河道掘削工、護岸工、橋梁工

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削工、護岸工、橋梁工	大分県	宮谷川河道拡幅等		

【豊後大野土木】大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

大野川において、河道掘削、護岸整備、築堤等による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

一級河川大野川水系大野川（中流） 広域河川改修事業



久原下工区



下津尾上工区



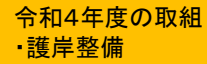
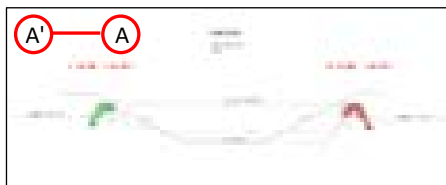
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、護岸整備	大分県	本川中流部河道掘削等	本川中流部河道掘削等	本川中流部浸透対策等

【豊後大野土木】大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

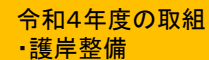
平井川において、河道掘削、堤防・護岸整備等による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

一級河川大野川水系平井川 広域河川改修事業

○上流地区



○下流地区



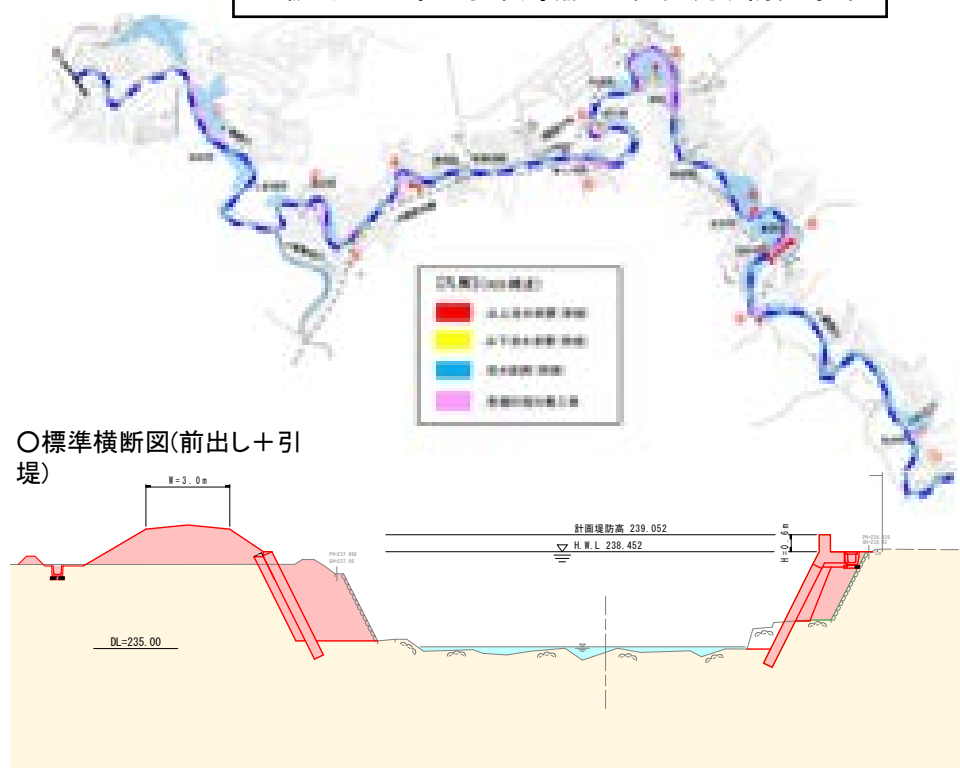
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備	大分県	平井川堤防整備		

【竹田土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

濁淵川において、河道掘削・堤防整備・橋梁架替等による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

○平面図

一級河川大野川水系濁淵川 総合流域防災事業



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替	大分県	濁淵川堤防整備		

【大分県】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■水災害リスク情報の提供・充実（中小河川等へ水位計・監視カメラの増設）

R3 中小河川等へ危機管理型水位計 簡易型河川監視カメラの増設

現状
・
課題

☑比較的大規模な河川（水位周知河川等）には水位計・カメラ設置済み

☑令和2年7月豪雨等では水位計・カメラが未整備の中小河川でも浸水被害が発生

☑ 住民の避難行動を促す視覚情報の提供を充実させるため、従前の大規模河川等に加え、中小河川等へも危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラを増設

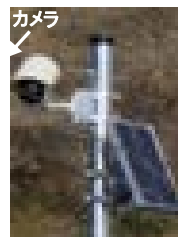
考 え 方

☑過去に浸水実績のある河川
⇒浸水実績のある河川については、視覚情報等を用いて、より緊迫感を持った避難行動を促す

◆水位計：既設127基 + 増設24基 = 計各151基設置
◆カメラ：既設 82基 + 増設69基



(県HPや防災アプリ等で視覚情報を発信)



<効果>

視覚情報等の提供強化により、住民の適切な避難行動を促進

市町村	水位計	カメラ
豊後高田市	0	1
国東市	1	3
杵築市	1	3
別府市	0	0
日出町	0	1
大分市	0	4
由布市	5	7
臼杵市	0	2
津久見市	0	3
佐伯市	0	11
豊後大野市	2	5
竹田市	3	6
玖珠町	2	3
九重町	6	7
日田市	1	4
中津市	2	7
宇佐市	1	2
合計	24	69

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分県	水害監視カメラ・量水標の設置		

【大分県】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■水災害リスク情報の提供・充実（水位計・監視カメラの設置支援）

R4新 河川情報整備支援事業について

【事業概要】

現在、水位周知河川・その他河川においては県の設置基準に基づいて151基の河川監視カメラを設置しています。

しかしながら、県の設置基準に満たない河川等では河川情報がなく、住民から、過去の大雨で氾濫しそうになったことがあり不安という声や、増水時に河川の現地確認を行うことは危険であるといった声があり、水位計や河川監視カメラ設置の防災ニーズが高まっていることが覗えます。

こうした現状を踏まえこのたび早期避難を目指すための市町村が設置する水位計や河川監視カメラの設置費用の一部を補助する事業を策定しました。

県管理河川（585河川）

本事業対象箇所

・市町村補助 25基×3箇年（想定）

県設置箇所

県設置基準：水位周知河川（区間指定あり）及び 浸水実績を有する中小河川

- ・水位計151基
- ・河川監視カメラ151基

補助基準

補助対象箇所

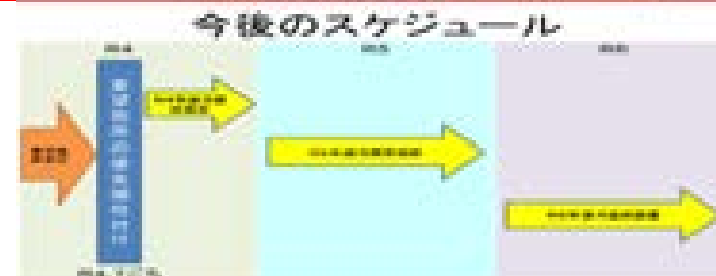
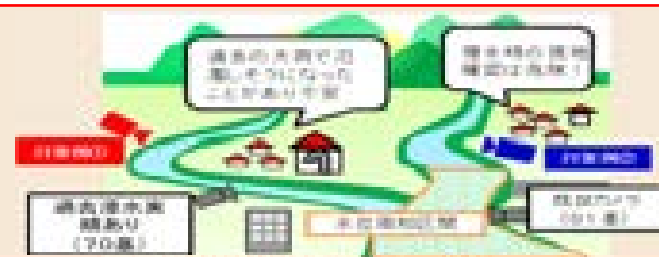
- ① 県の設置基準に満たない河川
- ② カメラ等設置済河川の上流部等

のうち氾濫しそうになった箇所

補助条件

- 1.河川背後地に人家がある（5戸以上）
- 2.河川背後地に要配慮者施設がある
- 3.周囲3km以内に他のカメラがない

以上などから優先順位づけ



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分県	水害監視カメラ・量水標の設置		

【大分県】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■水災害リスク情報の提供・充実（水防警報発令システムの導入）

R4新 水防警報発令システムについて

【1 現状と課題】

- ◆急激な豪雨に起因して同時多発的に河川の水位が上昇
- ◆関係機関への水防警報発令の伝達手段がアナログ

- 急激に変化する災害リスクに対し、スピーディーな情報伝達が必要
- 関係機関と迅速に河川情報を共有し、円滑な避難行動を促進

【2 今後の取組】

洪水時河川情報提供事業

○水防警報発令システム導入

- ①水防警報発令処理をシステム化（半自動化）
- ②メールで職員・水防管理者等へ通知

27都道府県でシステム運用中

効果

- ・水防警報処理時間短縮
- ・早期伝達
- ・ミス防止

きめ細かな現場対応

一覧表示で「見える化」

事務所	河川名	観測所	水位(m)	種類	基準水位	時刻	準備	出動	解除
〇〇土木	〇〇川	〇〇橋	3.32	氾濫危険	3.00	11:50	11:40	12:10	
〇〇土木	〇〇川	〇〇橋	2.11	氾濫危険	2.00	12:00	11:50	12:10	
〇〇土木	〇〇川	〇〇橋	2.22	避難判断	2.02	11:30	11:40		
〇〇土木	〇〇川	〇〇橋	1.55	水防団待機	1.50	10:00	10:10		
氾濫危険	2河川	2箇所	避難判断	1河川	1箇所	出動	2河川	2箇所	
氾濫注意	1河川	2箇所	水防団待機	2河川	3箇所	準備	2河川	4箇所	

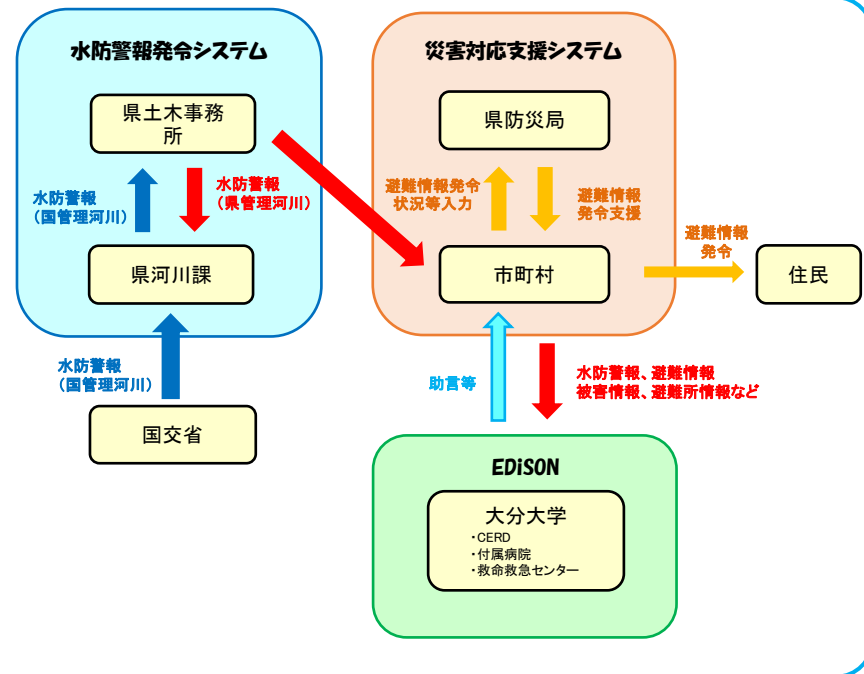
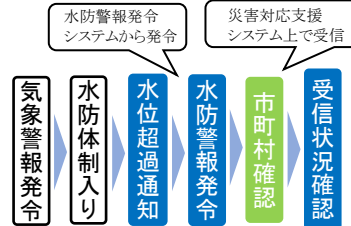
○災害対応支援システムと連携

- ①災害対応支援システムを通して水防警報発令状況を関係水防機関と共有
- ②災害対応支援システム内で受信確認

効果

- ・県防災局、市町村と円滑な情報共有
- ・避難情報早期発令
- ・水防団へ早期伝達

早期避難



【3 スケジュール】

事業	R4	R5	R6
洪水時河川情報提供事業	構築	運用開始	

【4 目指す効果】

- システムの連携により避難情報の早期発信、県民の適切な避難行動を促進
- システム導入により業務効率化、出水時のきめ細かな現場対応が可能

県民の早期避難及び安全・安心に寄与

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分県	水防警報発令システムの導入		

【大分県】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■避難体制等の強化（中小河川における氾濫推定図作成、ハザードマップ作成支援）

大分県 令和3年度～

中小河川洪水時避難行動支援事業

【1 現状と課題】

- ◆近年の豪雨により中小河川でも氾濫が発生（要配慮者利用施設で犠牲者）
- ◆中小河川における確かな避難情報・避難計画は未整備
- ◆水位周知河川84河川はハザードマップ作成済、中小河川では未作成

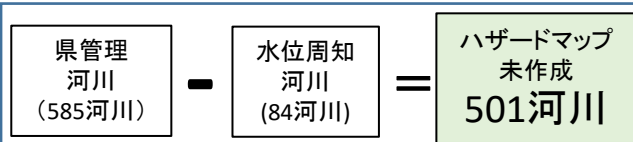


- 県民一人一人の自主的な避難行動に繋げるための啓発が重要
- 避難情報の強化や地域防災計画の充実を推進
- 平時から浸水リスクの情報を周知・共有し、早期避難の意識醸成
→県民の適切な避難判断・行動を支援

【2 水防法改正の動き】

洪水等に対応したハザードマップの作成を中小河川等まで拡大し、
浸水リスク情報空白域を解消
(R3.2.2水防法改正閣議決定、令和3年通常国会で改正予定)

【3 対象河川の選定】



※水位周知河川とは、洪水により国民経済上重大、又は相当な損害を生じるおそれがある河川【R2年度にハザードマップ作成完了】

○選定ポイント

- ①過去に浸水実績のある河川
 - ②河川背後地に資産（住居・公共施設等）が集中
 - ③要配慮者利用施設が河川近傍に存在
- ◎上記の選定ポイントを踏まえ、
優先してハザードマップを作成する河川を選定

対象中小河川：255河川

【4 今後の取組】

①氾濫推定図を
国・県が作成
他機関からR4に推定図のもと
となる計算結果が提供

②現地踏査等による
妥当性の確認

③中小河川における
河川洪水ハザード
マップ作成・配布

②、③は市町の作業

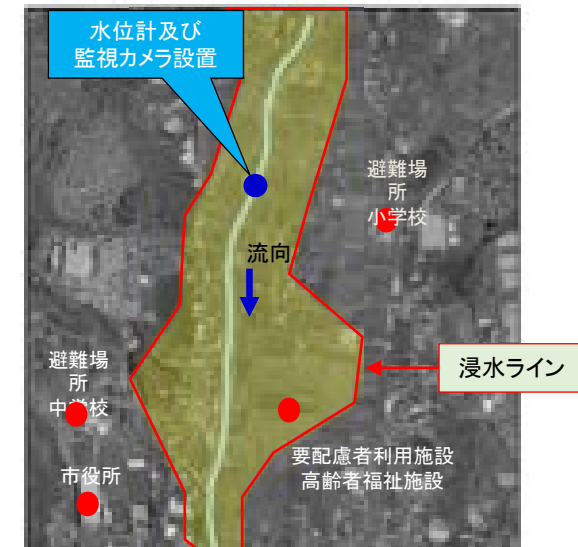
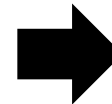


図1 ハザードマップイメージ

氾濫推定図を基にハザードマップ作成・配布へ
(市町事業費の4分の1補助) 【国1/2、県1/4、市町1/4】

【5 目指す効果】

- 中小河川での浸水リスクを住民に周知
- 水位計及び河川監視カメラの増設による情報提供の強化
- 要配慮者利用施設を含め地域住民の避難体制を構築

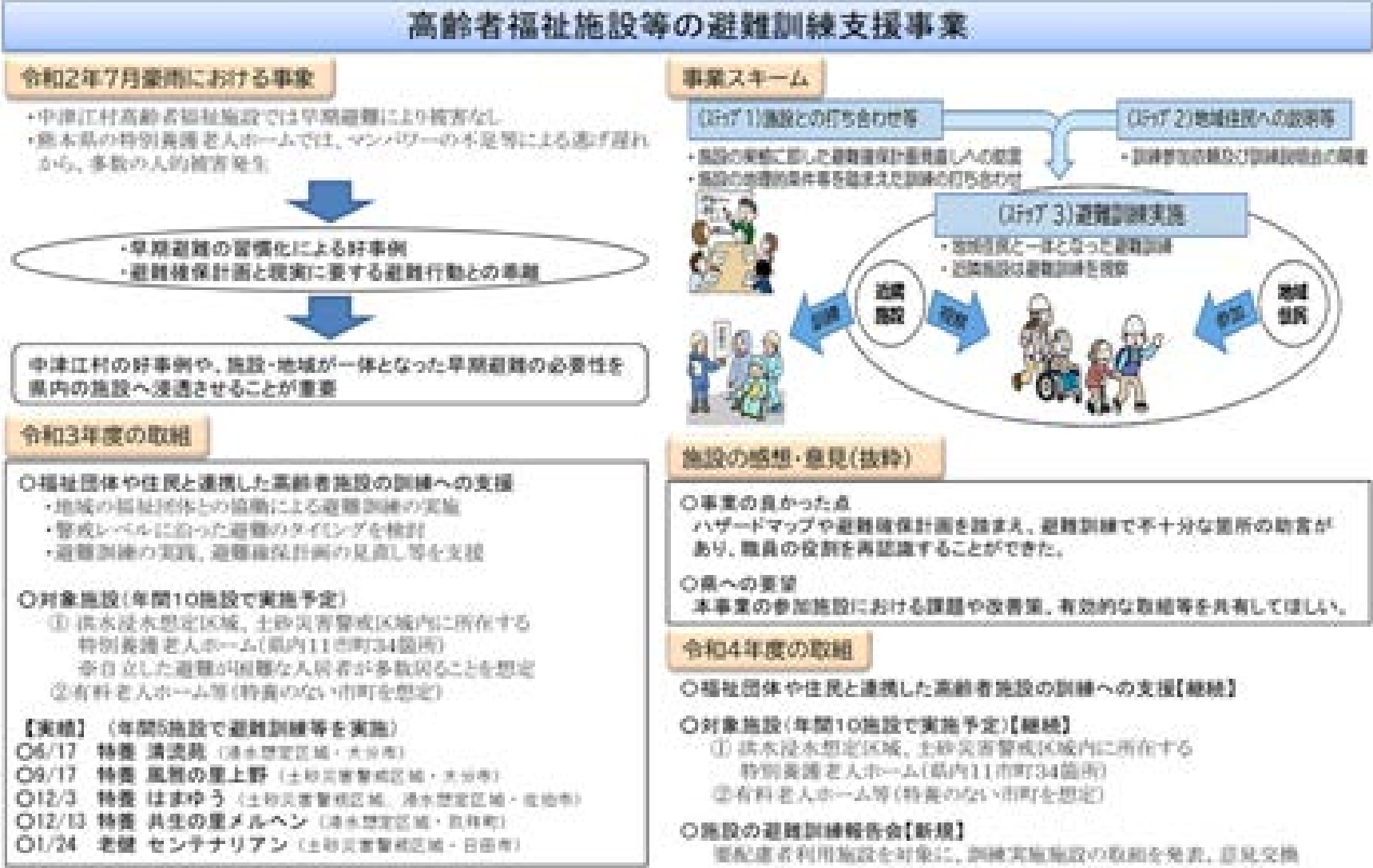


逃げ遅れによる人的被害をなくし
安全・安心な大分県へ

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分県	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成	

【大分県】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■避難体制等の強化（高齢者福祉施設等への避難訓練支援）



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分県	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【大分県】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■避難体制等の強化（マイ・タイムライン、地区タイムラインの作成支援等）

◆令和3年度までの取組

おおいたマイ・タイムラインの作成

- 令和2年10月よりHPに公開。（Ver.3（R3.5.20）改訂）
- 今後、各種広報や市町村への活用依頼を行うとともに、防災士の研修や学校において教材として活用し、地域や家庭での普及を図っていく。



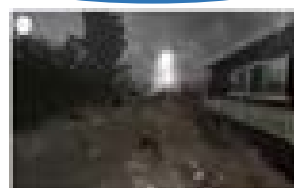
おおいた防災VRの作成

- 令和元年度制作コンテンツ：「地震編」、「津波編」、「土砂災害編」
- 令和2年度制作コンテンツ：「洪水・浸水害編」、「台風編」
- 学校や地域等の防災訓練や各種イベント等における活用を促進するとともに、動画共有サイト「YouTube」に公開

台風編



洪水・浸水害編



◆令和4年度から新たに追加する取組

①防災アプリにマイ・タイムライン作成支援追加

・スマホでの作成で効率化や利便性を向上
（ハードマップの確認や印刷が不要）



②防災アプリに家族グループ登録追加

・グループ登録した家族に警戒レベルを知らせ、遠方の家族からの声かけを通じて早期避難を促進



③要配慮者向けマイ・タイムラインの作成

・要配慮者向けマイ・タイムラインとは、地域の「支援者」や避難先での配慮事項等を事前に設定したマイ・タイムライン

- ・防災士を対象とした研修の開催
- ・防災士、市町村職員や民生委員等と連携し、要配慮者を早期避難のため、マイ・タイムラインの作成を推進



④地区タイムラインの作成



- ・町会やモデル的に町会等で実施し、マニュアルを作成
- ・全県、防災士研修等を通じて、県内各地に展開

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分県	マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムライン作成支援		

【大分県】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■避難体制等の強化（水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施）

◆防災士養成研修の講師派遣（主催：大分県防災局）

県内13箇所において、地域の防災力向上のため、自主防災組織活動の要となる防災士の養成研修へ河川課と砂防課から講師を派遣し「水害対策について」等について講演を行いました。

令和3年度 大分県防災士養成研修				
研修番号	開催会場	日 期	派遣者所属	参加者人数
1	福岡	10月23日（土）、24日（日）	河川課	32
2	熊本県	10月23日（土）、24日（日）、25日（月）	県内編組施設職員	31
3	福岡	10月23日（土）、24日（日）	河川課、河川係、河川係	47
4	熊本県	10月23日（土）、24日（日）	県立学校施設職員	62
5	福岡	10月23日（土）、24日（日）	河川課、河川係	24
6	熊本県	10月23日（土）、24日（日）	河川課、河川係	34
7	大分県	10月23日（土）、24日（日）	河川課	66
8	福岡	10月23日（土）、24日（日）	河川課、河川係	17
9	福岡	10月23日（土）、24日（日）	河川課、河川係	38
10	福岡	10月23日（土）、24日（日）	河川課、河川係	44
11	大分県	10月23日（土）、24日（日）	河川課	66
12	福岡	10月23日（土）、24日（日）	河川課、河川係	41
13	熊本県	10月23日（土）、24日（日）	河川課、河川係	45
合計				548



令和4年度も継続

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分県	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【大分県】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■避難体制等の強化（水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施）

◆消防学校へ講師派遣

・令和3年6月14日（月） 大分県消防学校

→新たに採用された消防職員に対し河川課と砂防課から講師を派遣し防災について講演を行いました。

令和4年度も継続



◆その他 研修等講師派遣

・令和3年6月30日（水） 大分県立竹田支援学校

→県教育庁の防災教育の一環として学校防災構内研修として学校が過去浸水した経験を基に安全な避難経路を現地確認するとともに、水害に関する講演及び防災VRを用いた学習行いました。

・令和4年3月10日（木） 杵築市立杵築中学校

→1年生の防災学習のため河川課と砂防課から水害と土砂災害について講演を行いました。

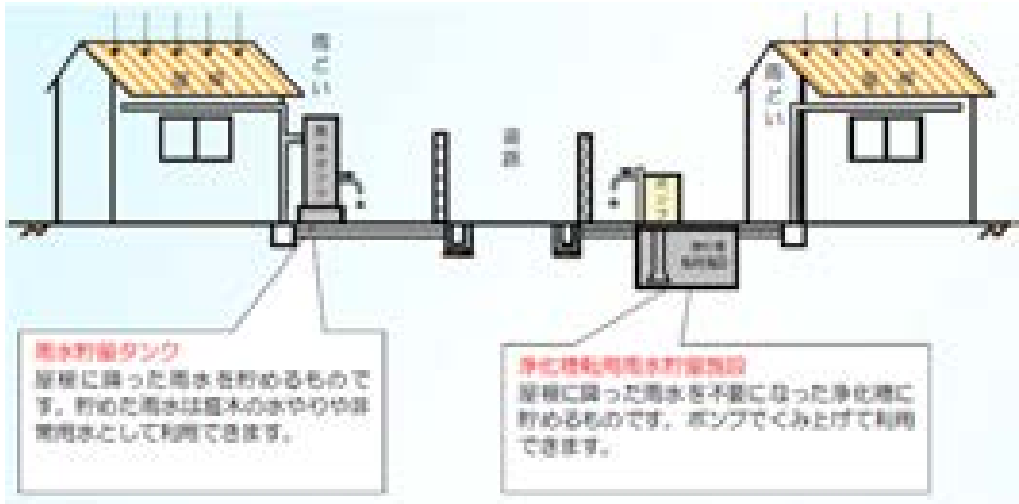
令和4年度も継続



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分県	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【大分市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

雨水貯留タンクを購入し設置する費用の半額（上限25,000円）を補助
（浄化槽からの転用の場合は上限50,000円）



雨水貯留施設（イメージ図）

令和3年度
・設置補助件数：30件

令和4年度
・設置補助上限数：50件

雨水貯留タンク設置例

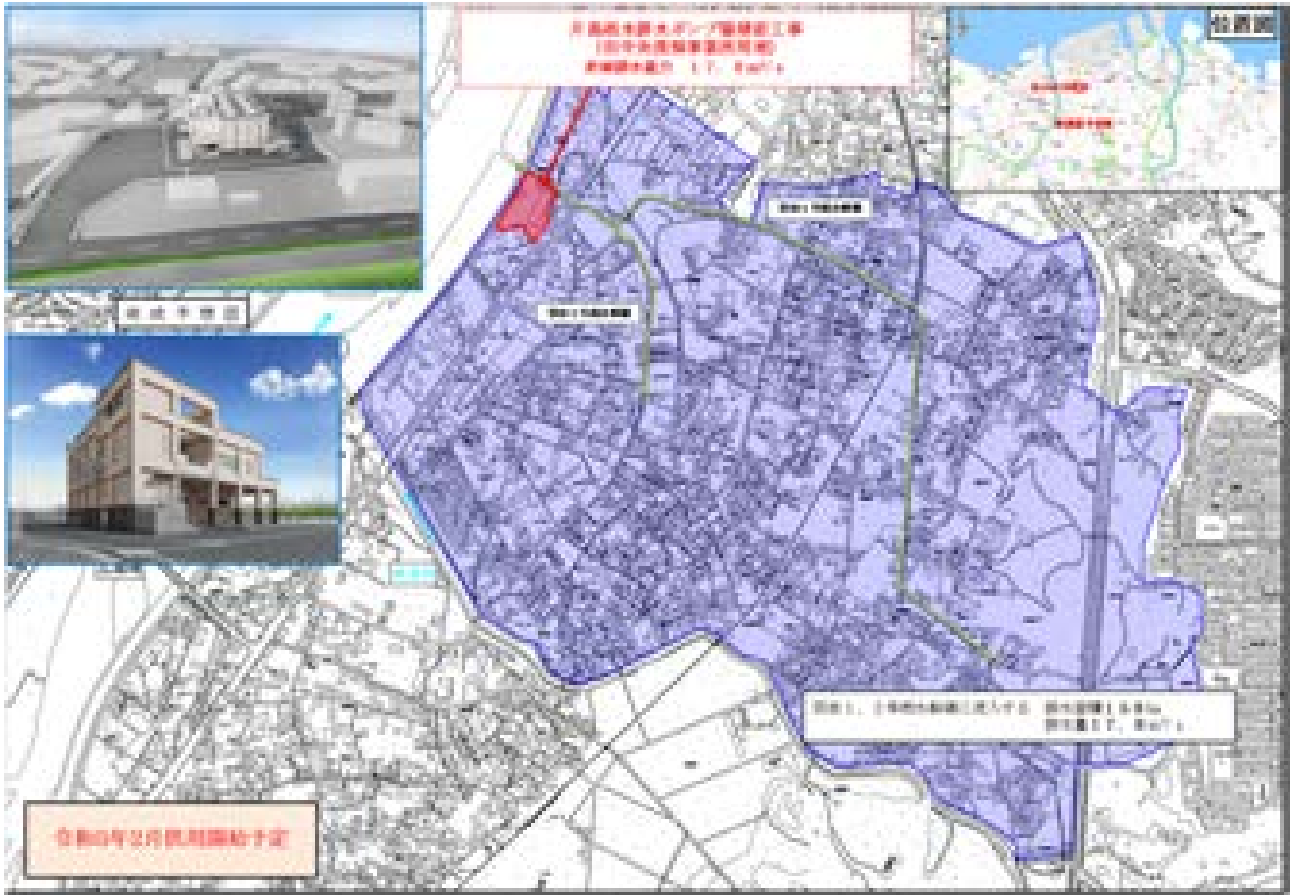


区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	雨水貯留機能の向上	大分市	住宅・事業所等における雨水貯留タンク設置補助継続検討、校庭・公園・公共施設等の貯留施設設備検討		

【大分市上下水道局】

大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

片島地区の浸水対策の為、片島雨水排水ポンプ場の建設を行う。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道等の排水施設の整備		

【大分市上下水道局】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

令和4年度の実施

大雨時の浸水対策の為に、災害対策ポンプ場の建設を行う。
（令和4年度～令和5年度）



下郡地区



花園地区

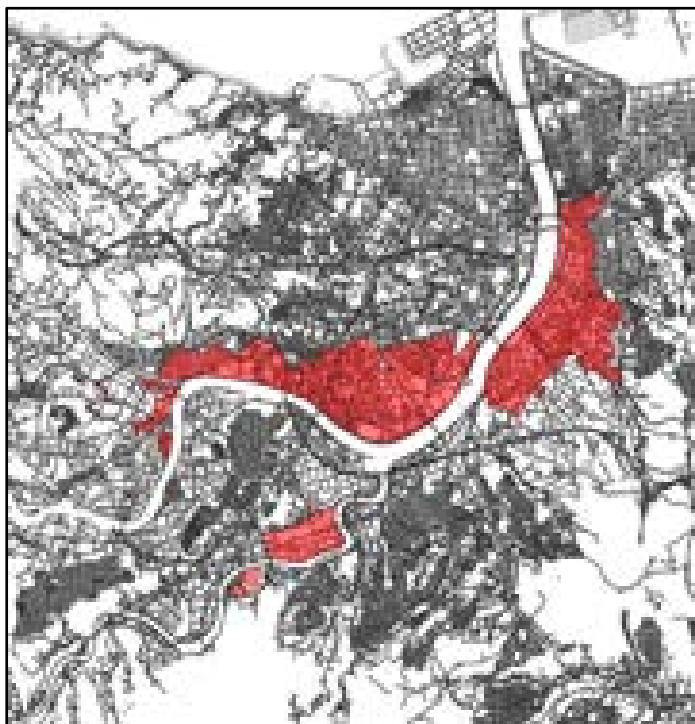
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	下水道対策事業	大分市	災害対策ポンプ施設の整備		

【大分市】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

令和3年度の実施計画

流出解析(浸水想定、流出抑制等の検討)

対象エリア



浸水シミュレーションによる流出解析を行い、
浸水発生を抑制する最も効率的・効果的な
手法を検討する。



東京都HPより

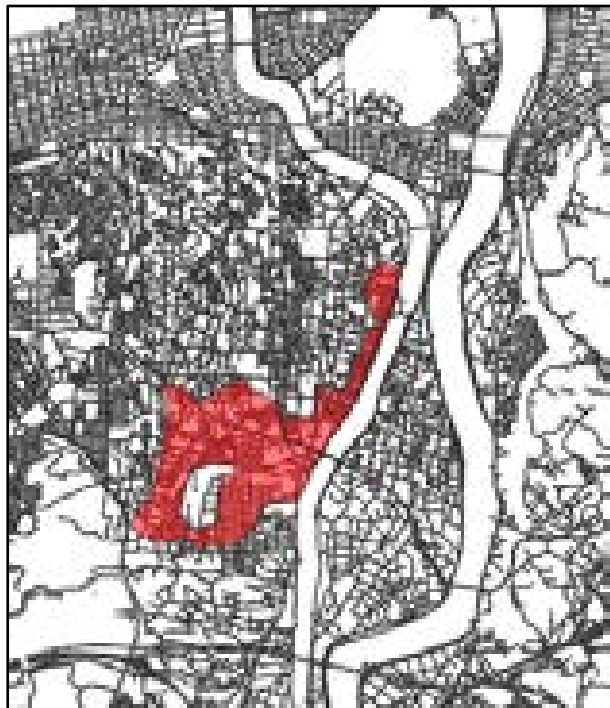
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・ 減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道事業における雨水流出抑制施設の検討		

【大分市】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

令和3年度の実施計画

流出解析(浸水想定、流出抑制等の検討)

対象エリア



浸水シミュレーションによる流出解析を行い、
浸水発生を抑制する最も効率的・効果的な
手法を検討する。



東京都HPより

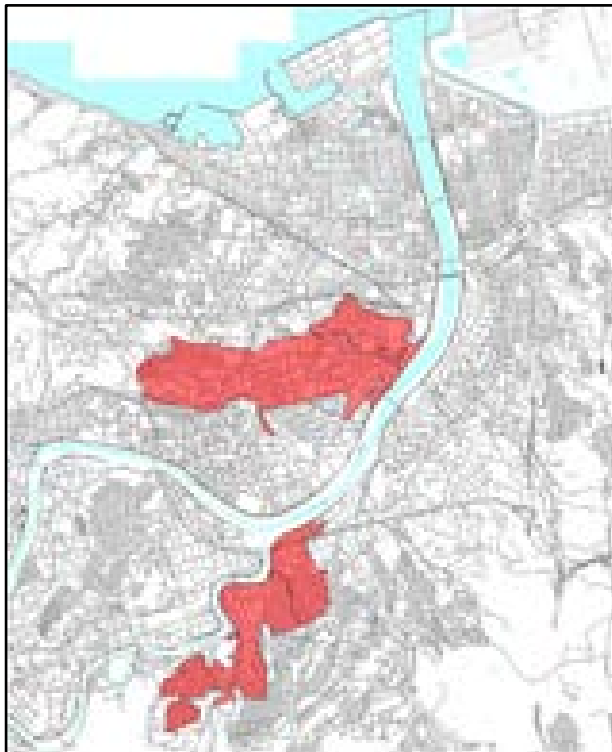
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・ 減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道事業における雨水流出抑制施設の検討		

【大分市】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

令和4年度の実施計画

流出解析(浸水想定、流出抑制等の検討)

対象エリア



浸水シミュレーションによる流出解析を行い、
浸水発生を抑制する最も効率的・効果的な
手法を検討する。



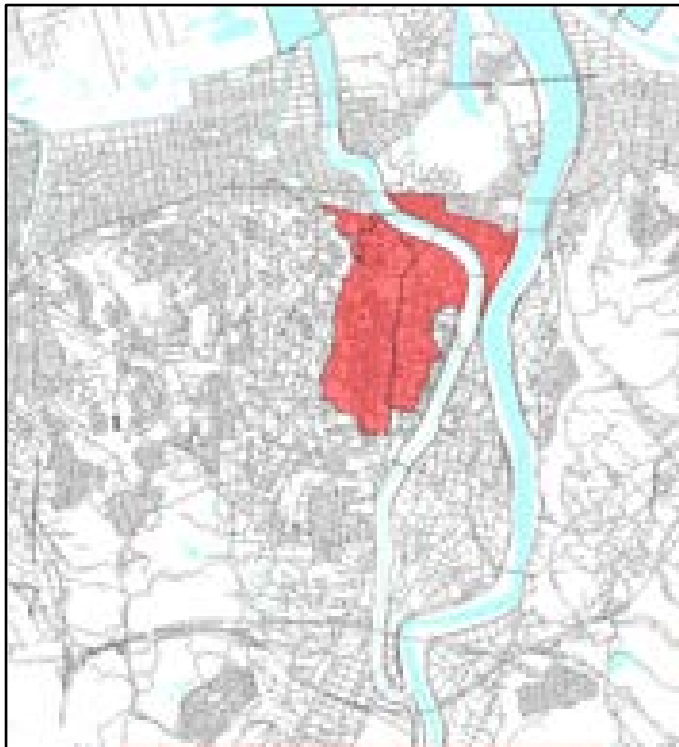
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・ 減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道事業における雨水流出抑制施設の検討		

【大分市】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

令和4年度の実施計画

流出解析(浸水想定、流出抑制等の検討)

対象エリア



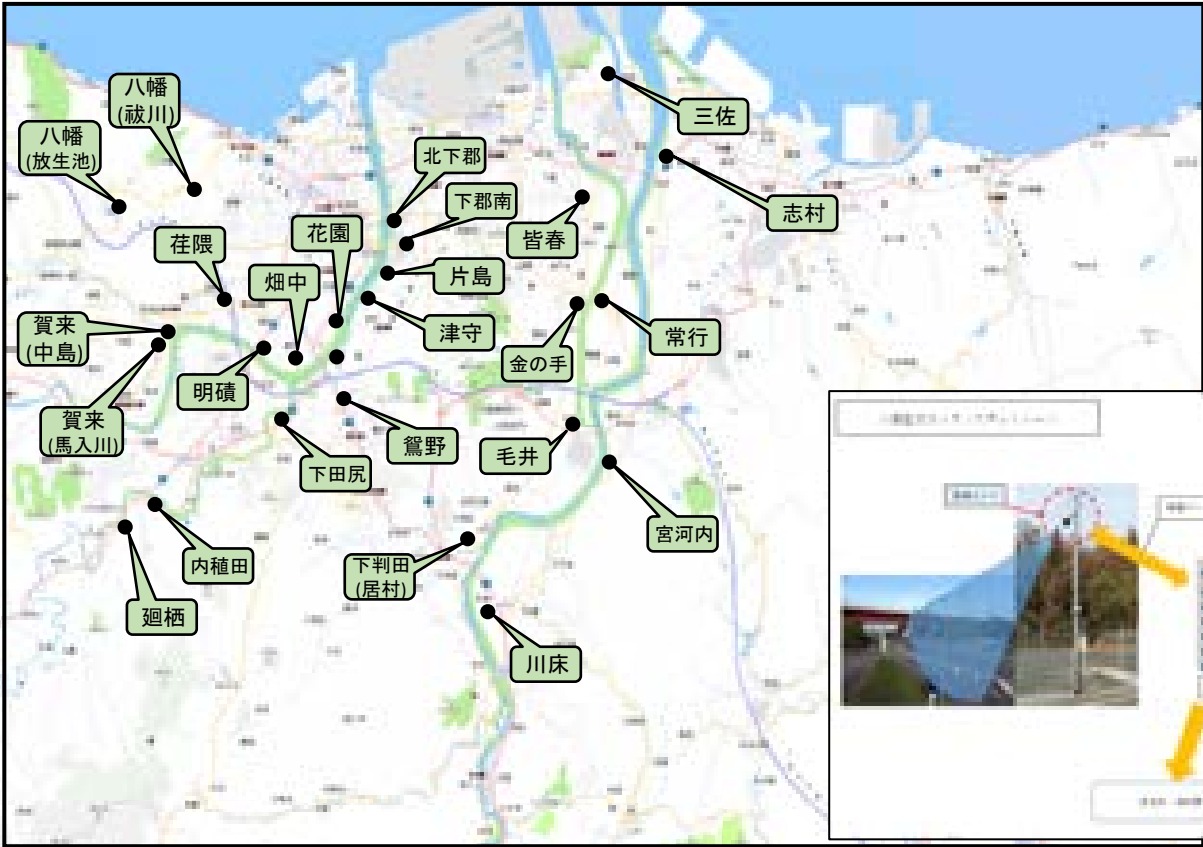
浸水シミュレーションによる流出解析を行い、
浸水発生を抑制する最も効率的・効果的な
手法を検討する。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・ 減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道事業における雨水流出抑制施設の検討		

【大分市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

水害監視カメラ設置箇所 位置図



令和3年度
・水害監視カメラ設置
26箇所

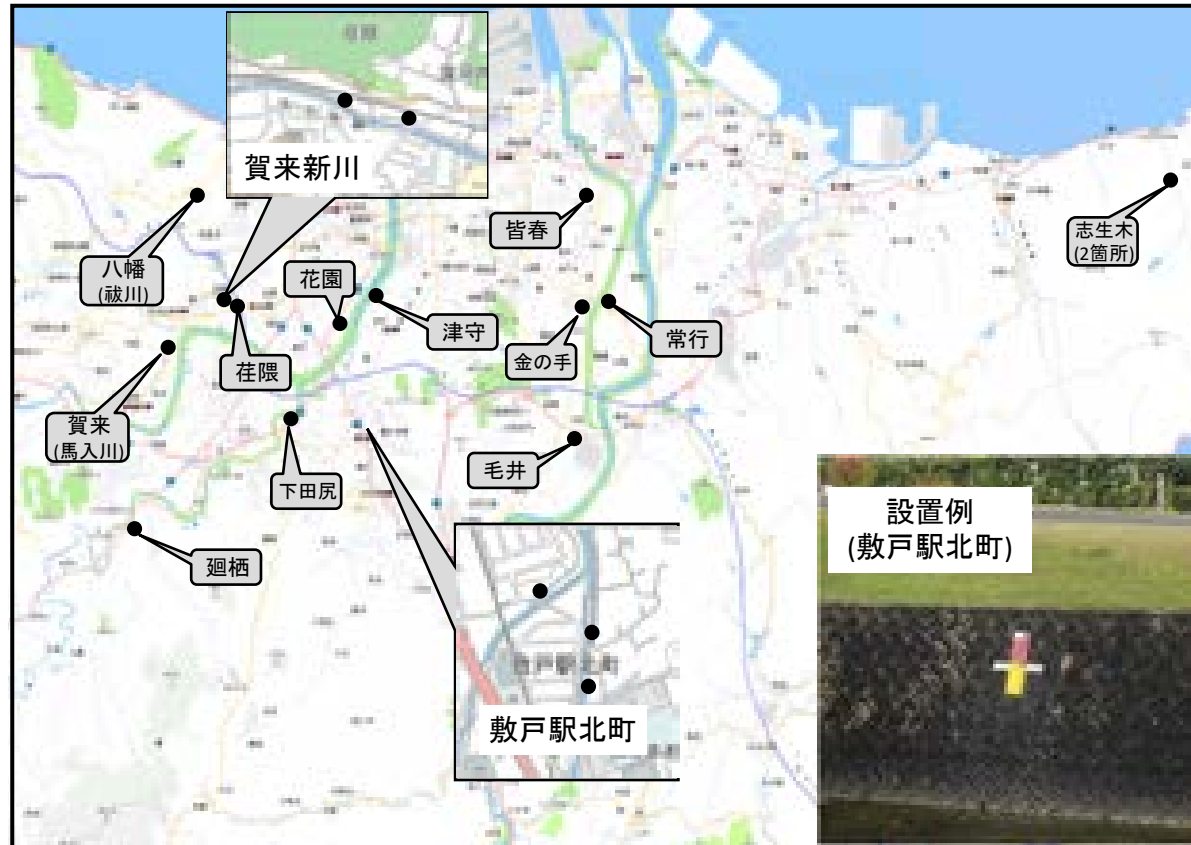
令和4年度
・水害監視カメラ追加設置
3箇所



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市	水害監視カメラ・量水標の設置		

【大分市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

量水標等設置箇所 位置図



令和3年度

- ・水害監視カメラ位置
11箇所
- ・地元要望5箇所
(2地区: 賀来新川、敷戸駅北町)
- ・志生木(2箇所)

令和4年度

- ・水害監視カメラ位置
2箇所
- ・他 地元要望箇所

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市	水害監視カメラ・量水標の設置		

【竹田市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■避難訓練、水防活動に関する取組
自主防災組織による活動の推進及び地域防災リーダーの育成を支援

令和3年度の取組

防災士養成研修の実施

・地域の防災活動の核となる防災リーダー「防災士」の養成を行う

実施日：令和3年10月29日（土）・30日（日）

令和3年度防災士養成者数：14名（これまでに282名を養成）

令和4年度の取組

実施予定日：令和4年10月29日（土）・30日（日）

養成研修募集予定者数：20名

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	竹田市	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【竹田市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

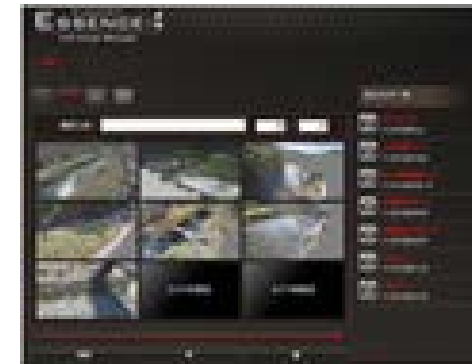
■ 洪水時における自治体や河川管理者等から住民への情報提供に関する取組 危機管理型水位計及び監視カメラの追加設置と、ケーブルテレビでの公開を検討

河川監視カメラの設置

これまでに、河川監視カメラを7か所に設置、
竹田市ホームページ及びケーブルテレビで24時間閲覧が可能

（大分川水系） 芹川

（大野川水系） 稲葉川、玉来川（2か所）、緒方川、大野川、滝水川



令和4年度の取組

河川監視カメラの増設（予定）

増水時に迅速な避難行動を促すための情報提供の取り組みとして、河川カメラの増設予定。
（県の河川情報整備支援事業を活用予定）
希望箇所は、市内の河川3箇所を予定

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	竹田市	防災情報伝達の多重化の検討		
			水害監視カメラ・量水標の設置		

【竹田市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■ 平常時からの災害リスク情報や避難場所・避難経路等の情報提供に関する取組 中小河川において想定しうる最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図をもとにした洪水ハザードマップの作成・配布

防災マップ、洪水ハザードマップ

これまでに、市内を流れる5河川について、「洪水ハザードマップ」を作成、該当自治会に全戸配布している。

また、「洪水ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」、「九重山火山防災マップ」をまとめた、「竹田市防災マップ」を作成し、全戸配布を行い、周知を図っている。



（「防災マップ」は、WEB版も作成、パソコンやスマホからも閲覧が可能）

令和4年度の取組

中小河川洪水ハザードマップの作成

中小河川浸水想定区域図をもとに、洪水ハザードマップを作成、配布し周知を図る

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	竹田市	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成	

【豊後大野市】大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

大雨時の浸水対策のため設置した柴北川緊急排水ポンプ排水能力の向上



■平成29年9月台風18号の際、従来から設置していた排水ポンプを稼働したが左図の箇所が浸水を食い止めることが出来なかったことから、令和2年度に排水ポンプの改修工事を行い、吐き出し量を倍増させる対策を行った。

■毎年度保守点検業務を地元業者に委託し、出水期に備えている。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道対策事業	豊後大野市	災害対策ポンプ施設の整備		

【豊後大野市】大野川水系流域治水プロジェクト（被害対象を減少させるための対策）

豊後大野市立地適正化計画における災害リスクを考慮した居住誘導区域の設定



■「豊後大野市都市計画マスタープラン」の実現に向け、令和4年3月に「豊後大野市立地適正化計画」を策定した。

■災害リスクを分析し、居住誘導区域の設定等を行った。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	豊後大野市	立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）、災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討		

【豊後大野市】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

ため池ハザードマップの作成・公開



■ 令和元年度より「ため池ハザードマップ」の作成を行っており、随時市ホームページに掲載している。令和4年度に完成予定。

■ 地震や大雨等により決壊した場合に想定される浸水の範囲や到達時間、避難の方向や避難場所を示している。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	豊後大野市	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成	

【豊後大野市】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

洪水ハザードマップの作成・公開



■ 令和元年度に「洪水ハザードマップ」の作成し、全関係行政区に配布し、市ホームページにも掲載している。

■ 河川の越流、護岸の崩壊等により浸水した場合に想定される水深、避難方向、避難場所等を示している。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	豊後大野市	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成	

【豊後大野市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

防災情報伝達手段の多重化



■ 令和2、3年度に防災行政無線のデジタル化工事を行い、屋外拡声子局の無かった緒方町、大野町を含む273局を整備した。

■ 併せて市CATV、市ホームページ、各戸設置の音声告知端末、防災アプリ（スマートフォン、タブレット等）に同時連携させ、市民があらゆる媒体で瞬時に防災情報を得られるようになった。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	豊後大野市	防災情報伝達の多重化の検討		

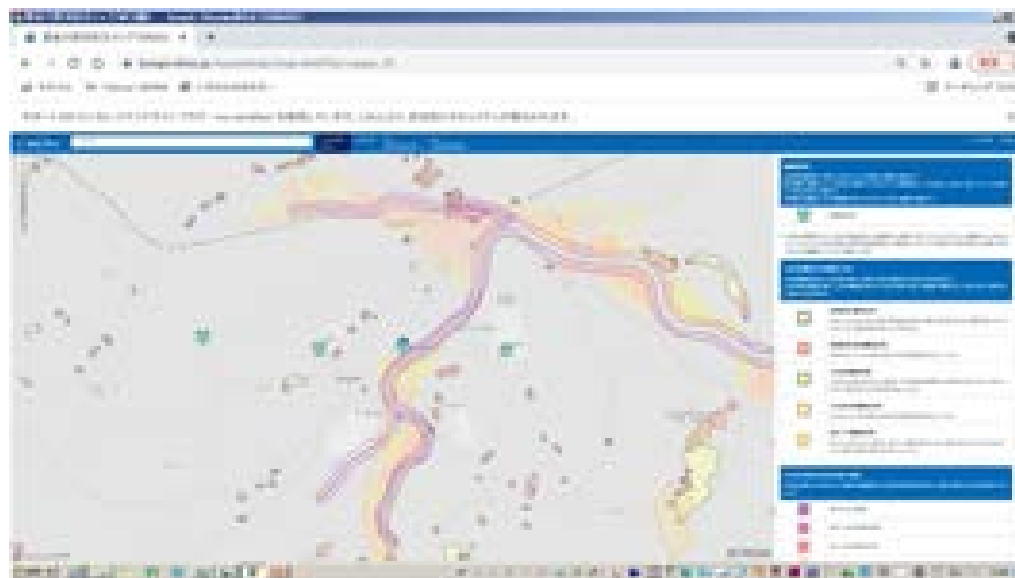
【豊後大野市】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

防災ガイドブックの全戸配布と市ホームページでの防災マップWEB版の公開



■洪水ハザードマップ及び土砂災害ハザードマップ、避難所一覧、防災減災のための各種情報を記載した「防災ガイドブック」を全戸に配布した（転入者へも随時配布）。

■防災マップWEB版を市ホームページで公開している。スマートフォンやタブレットでも閲覧できるようにし、多言語化（英語、中国語、韓国語）により外国人の活用も推進している。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	豊後大野市	防災情報伝達の多重化の検討		

【豊後大野市】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

水防意識を高める防災訓練・防災講習、防災リーダーの育成

■大分県地震・津波等防災・減災対策推進事業費補助金を活用し、自主防災組織、防災士会の実施する防災研修、訓練、防災資機材の購入にかかる経費の一部を補助している。

■各町に組織した防災士会の情報交換のため半期に一度代表者会議を開催し防災意識の共有を図っている。

■防災に関する経験や知識が豊富な「防災アドバイザー」を市で単独雇用し、自主防災組織や防災士会、高齢者のサロン、民生委員会、小中学校などで、防災講話や防災訓練のアドバイスを実施している。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	豊後大野市	水防意識を高める防災教育・防災訓練の実施		

【豊後大野市】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度以降の取組（継続を含む）

■その他河川(中小河川)洪水ハザードマップの作成

○浸水想定区域図の作成状況により、令和4年度以降に中小河川洪水ハザードマップの作成及び配布、WEB版の公開を行う。

■自主防災組織、防災士の育成、活動に対する補助

○おおいた防災・減災対策推進事業費補助金を活用し、自主防災組織、防災士会が実施する研修、訓練、資機材の購入にかかる経費の一部を補助する。

■防災パトロールの実施

○コロナ禍のため令和2,3年度に規模を縮小して行っていた防災パトロールを通常規模で実施し、危険箇所に対する認識の共有を図る。

■防災士養成研修、防災士スキルアップ研修の開催

○地域防災のリーダーとなる防災士の養成、市独自のスキルアップ研修(年3回)を行う。

■要配慮者利用施設避難訓練の実施の補助

○市内の全要配慮者利用施設における避難確保計画の作成が令和3年度に終了したので、年1回の避難訓練について指導、アドバイスを行う。

■市雇用防災アドバイザーによる研修等

○市単独で雇用している防災アドバイザーによる、ハザードマップを活用した研修や訓練を実施する。自主防災組織や防災士会だけでなく、高齢者サロンや民生委員会等、市内各種団体に出向き防災意識の高揚を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	豊後大野市	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成	
			水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【由布市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害対象を減少させるための対策）

令和4年度の取組（令和5年公表）

- 立地適正化計画の策定
- 災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	由布市	立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）、災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討		

【由布市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和3年度の実施

R3.11.24 大分大学減災・復興デザイン教育研究センターとの協働による
マイタイムライン作成支援（湯平地区）



令和2年7月豪雨を振り返り、どのような状況になったら、どこに避難するか等を住民
同士で話し合い、マイタイムラインを作成した。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	由布市	マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援		

【由布市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の実施

- 小規模河川のハザードマップ作成
- マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援
- 水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施

R4.4.10 大分大学減災・復興デザイン教育研究センターとの協働による
マイタイムライン作成支援（湯平地区）



令和2年7月豪雨を振り返り、どのような状況になったら、どこに避難するか等を
住民同士で話し合い、フィールドワークの実施・マイタイムラインを作成した。
※5月26日（木）、夜間にて訓練を実施する予定。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	由布市	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成	
			マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援		
			水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【由布市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和3年度の取組

■水防災意識を高める防災教育、避難訓練

- 河川協力団体等と連携した広報活動
- 学校教育における水防災教育の促進

R3.11.17 防災教育（由布川小学校）



由布市の過去の災害発生状況、災害時の避難の仕方等について説明

R3.9.4 防災研修（はさま未来館）



ハザードマップによる浸水想定区域の説明や、避難情報の種類、適切な避難のタイミング等について説明

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	由布市	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【臼杵市】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

避難体制等の強化

■避難訓練の実施・支援

自主防災組織等が実施する水防訓練を支援。



土のう作成訓練
(田井ヶ迫地区)



掲載紙面

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	臼杵市	防災教育、避難訓練の実施・支援		

【臼杵市】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

避難体制等の強化

■防災教育の推進

市内小学校に対し、「川の防災」について授業を行う。



下南小学校4年生に対して授業



校区内のハザードマップを使用し、身近に潜む危険を調べる

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	臼杵市	防災教育、避難訓練の実施・支援		

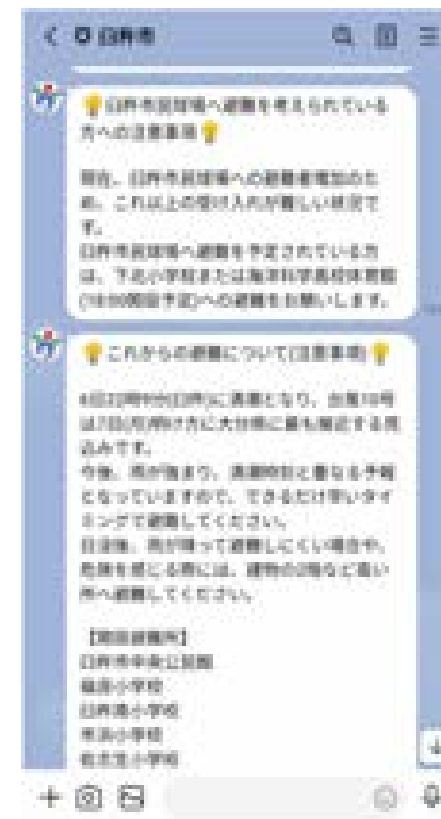
【臼杵市】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

避難体制等の強化

■アプリ、SNS等を活用した防災情報の配信

○令和2年度から**LINE**の活用を開始。
Facebookと併せて速やかな情報配信を実施。

○避難所の混雑状況を配信する「**VACAN**」
を令和3年度から活用。避難者に対して、即時
性のある情報配信を実現。



台風10号時の配信文

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	臼杵市	アプリ、SNS等を活用した防災情報の配信		

【熊本県】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

○^{おお}大利川、^{おお}大蘇川、山鹿川、産山川において、河道内の土砂堆積が著しいことから、河道掘削による流下断面の確保を行う



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	熊本県			

【熊本県】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧、復興のための対策）

○大野川水系における本県が管理する全7河川について、想定し得る最大規模の浸水想定区域図を作成し、土地のリスク情報の充実を図る。

対象河川

ぐみ
 ○大野川 ○産山川 ○荖黄川 ○山鹿川
おおり
 ○大利川 ○吐合川 ○大蘇川

【作成例】大野川の浸水想定区域図（想定最大規模）



位置図



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	土地の水害リスク情報の充実	熊本県	R3完了		

【熊本県】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

○令和2年7月豪雨により被災した山鹿川において、災害関連事業を活用し、築堤、引堤、橋梁架替等を行うことにより、流下能力を向上させ、再度被害防止を図る。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	熊本県			

【宮崎県】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 洪水浸水想定区域図の未作成河川について、令和7年度までに浸水想定区域図を作成し、水害リスク情報空白域を解消していく。
- 作成した洪水浸水想定区域図データを提供する。



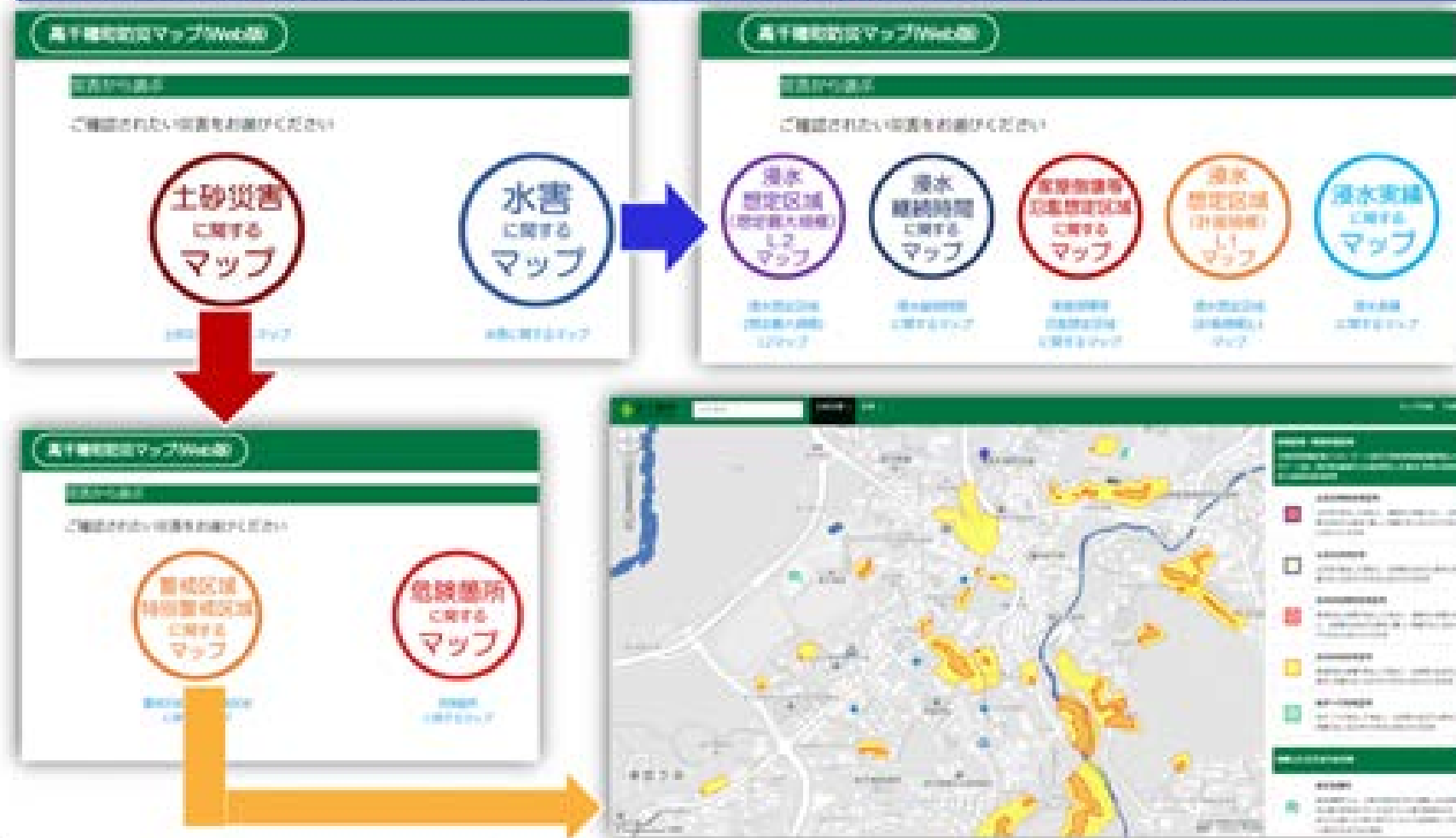
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	宮崎県	水害リスクマップの作成		

【高千穂町】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

○水害リスク・ハザードマップの周知

【高千穂町防災マップWEB版】

・高千穂町防災マップWEB版によって、水害や土砂災害に関するリスクを確認できるようにしている。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	高千穂町	水害リスクマップの作成		

【高千穂町】大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 災害時の円滑な防災対応のため、自主防災組織が主体となる避難訓練の取組支援
- 自主防災組織の運営訓練（自主避難の判断、情報伝達訓練、要配慮者の避難支援訓練）、自衛隊による住民搬送、警察・消防団・自衛隊による巡回、土砂災害講習等



避難訓練の様子



自主防災組織の活動状況



土砂災害講習の様子



防災資機材の展示



自衛隊装備品の展示

- ・地域住民181名の参加
- ・要配慮者の把握、連絡網の作成
- ・自主防災組織におけるそれぞれの役割確認
- ・土砂災害講習や防災資機材展示により、住民の防災意識が向上

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	高千穂町		防災教育、避難訓練の実施・支援	

【森林整備センター】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト (氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

令和4年度の取組

水源林造成事業による森林の整備・保全

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業である。

・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。

大分川・大野川流域における水源林造成事業地は、約206箇所（森林面積 約3千ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していく。



水源林の整備



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	森林整備センター	森林整備・治山対策		